

# 京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築工事

## 設計図

建築図				構造図				電気設備図				機械設備図			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	
01	A-01	表紙、図面リスト	—	23	A-23	建具表	1/100	28	S-01	構造特記仕様書(1)	—				
02	A-02	特記仕様書-1	—	24	A-24	外構配置図	1/200	29	S-02	構造特記仕様書(2)	—				
03	A-03	特記仕様書-2	—	25	A-25	敷地縦断面図-1(現況図)	1/100	30	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	—				
04	A-04	特記仕様書-3	—	26	A-26	敷地縦断面図-2(造成後)	1/100	31	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	—				
05	A-05	特記仕様書-4	—	27	A-27	敷地横断面図(現況図 造成後)	1/200	32	S-05	鉄骨工作標準図(1)	—				
06	A-06	特記仕様書-5	—					33	S-06	鉄骨工作標準図(2)	—				
07	A-07	特記仕様書-6	—					34	S-07	H形鋼継手標準図	—				
08	A-08	特記仕様書-7	—					35	S-08	ベースバック柱脚工法標準図1/2	—				
09	A-09	敷地面積算定表	1/200					36	S-09	ベースバック柱脚工法標準図2/2	—				
10	A-10	建築面積・床面積 求積図、面積表	1/100					37	S-10	ボーリング柱状図	—				
11	A-11	仮設計画図	1/200					38	S-11	テノコラム地業特記仕様書	—				
12	A-12	配置図(現況図)	1/200					39	S-12	基礎・1階床梁伏図	1/100				
13	A-13	配置図	1/200					40	S-13	中間階床梁伏図	1/100				
14	A-14	仕上表	—					41	S-14	R階床梁伏図	1/100				
15	A-15	平面図	1/100					42	S-15	軸組図(1)	1/100				
16	A-16	平面図(参考図)	1/100					43	S-16	軸組図(2)	1/100				
17	A-17	屋根伏図	1/100					44	S-17	基礎リスト	1/30				
18	A-18	立面図-1	1/100					45	S-18	鉄筋コンクリート部材リスト	1/30				
19	A-19	立面図-2	1/100					46	S-19	鉄骨部材リスト	1/30				
20	A-20	断面図	1/100					47	S-20	加構詳細図(1)	1/30				
21	A-21	矩計詳細図-1	1/30					48	S-21	加構詳細図(2)	1/30				
22	A-22	矩計詳細図-2	1/30					49	S-22	シャッター取付詳細図	1/30				

COA

有限会社 コア建築事務所

TITLE	京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA	有限会社 コア建築事務所	NO.	01
NAME	表紙、図面リスト		SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW	A-01



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
5	鉄筋工事	①鉄筋の種類 (5.2.1)	(表5.2.1) 異形鉄筋 種類 種類 S D 2 9 5 A D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 一般建築物の柱・梁の主筋に適用する	6	コンクリート工事	⑦型枠(せき板) (6.2.5) (6.8.2) (6.8.3)	合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) 12	7	鉄骨工事	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	セットの種類 1類(F8T相当) 摩擦面の処理 プラスト処理(表面相度50µmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による	7	鉄骨工事	⑰錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2)	塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表18.3.1による A種 B種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表18.3.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表18.3.1による A種 B種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う
		②溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 100×100 鉄線の径 6 mm			⑥普通ボルト (7.2.3)	ボルト径 図示による			②コンクリートブロック造及び塀 (8.3.2)	ブロックの種類 (表8.3.1) 適用箇所 種類 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 空洞ブロック 16 外壁の化粧積み 空洞ブロック 16-W				
		③鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)	部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手の長さ 柱・梁の主筋 重ね継手 ガス圧継手 D19以上 標仕表5.3.2による 機械式継手 溶接継手 その他 重ね継手 ガス圧継手 D16以下 構造図による 機械式継手 溶接継手 品質確認方法、修正方法等 溶接継手 種類 施工計画書に記載し提出 工法 品質確認方法、修正方法等 施工計画書に記載し提出 鉄筋継手位置 構造図による 表5.3.3による 柱に取付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ 構造図による 表5.3.4による			⑧スリーブ (6.8.3)	スリーブの材種 (表6.8.1) 適用箇所 材種(規格その他) 水密を要する地中部分等 つば付き銅管 (JIS G3452の黒管に厚さ6mm、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K6741のVU) 上記以外の円形スリーブ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上)			⑧コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 (8.4.2) (8.4.5)	3 A L C パネル (8.4.2) (8.4.5)			パネルの種類 (表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4) 種類 単位荷重(N/m <sup>2</sup> ) 厚さ(mm) 構造 耐火性能 外壁用 1180 1960 100 A種 B種 有り(時間)無し 間仕切用 640 100 C種 E種 有り(時間)無し 屋根用 980 100 F種 有り(時間)無し 床用 2350 3530 100 F種 有り(時間)無し	
		④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm)			⑨コンクリートの試験 (6.9.2) (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する			④押出成形セメント板(ECP) (8.5.2) (8.5.4)	種類 無石綿タイプ(タイプ) 施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 工法 耐火性能 外壁 フラットパネル 3 5 A種 有り(時間) デザインパネル(図示) 5 0 B種 有り(時間) タイルベースパネル 6 0 無し 間仕切用 フラットパネル 3 5 B種 有り(時間) デザインパネル(図示) 5 0 C種 有り(時間) タイルベースパネル 6 0 無し				
		⑤圧接完了後の試験 (5.4.9)	試験方法 超音波探傷試験 引張試験			⑩軽量コンクリート (6.10.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 所要気乾単位容積質量 t/m <sup>3</sup>			⑤コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート 類別 類 類 (表6.2.1)			⑤混和材料 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA 高炉セメントのB種(適用箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(適用箇所)
6	コンクリート工事	①コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート 類別 類 類 (表6.2.1)	7	鉄骨工事	⑪寒中コンクリート (6.12.2)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節(寒中コンクリート)による。 暑中における構造体強度補正值(S) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 6N/mm <sup>2</sup> 中部地域 7月21日~8月31日 3N/mm <sup>2</sup> 南部地域 7月1日~9月10日	15	アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)	14 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.7)	種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) 耐火材吹付け 乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 耐火板張り 繊維混入ケイ酸カルシウム板 耐火材巻付け 高断熱ロックウール 双張り珪藻土塗り - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 適用箇所(部位・部分) 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火	9	防水工事	①鉄骨の製作工場 (7.1.3)	監督職員の承諾する工場 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(S H M R J)グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場
		②施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	適用する 適用しない			②鋼材の種類 (7.2.1)	材質、形状及び寸法 図示による								
		③鋼材の種類 (7.2.1)	材質、形状及び寸法 図示による			④高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 トルシア形高力ボルト J I S 形高力ボルト ボルト径 図示による すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による								
		④高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 トルシア形高力ボルト J I S 形高力ボルト ボルト径 図示による すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による			⑤コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1)	設計基準強度(Fc) 打設部位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 2 1 1 5 1 8 上部 2 1 1 5 1 8 土間スラブを含む 土間コンクリート 1 8 1 5 1 8 側溝・犬走り 捨コンクリート 1 8 1 5 1 8 軽量コンクリート 2 1 1 5 1 8 無筋コンクリート 1 8 1 5 1 8 標仕6.14.1による								
		⑤コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1)	設計基準強度(Fc) 打設部位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 2 1 1 5 1 8 上部 2 1 1 5 1 8 土間スラブを含む 土間コンクリート 1 8 1 5 1 8 側溝・犬走り 捨コンクリート 1 8 1 5 1 8 軽量コンクリート 2 1 1 5 1 8 無筋コンクリート 1 8 1 5 1 8 標仕6.14.1による			⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值(S) (表6.3.2) 予想平均気温( ) 補正值 期 間 (打 設 日) 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm <sup>2</sup> 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm <sup>2</sup> 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																
9	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) ~ (9.3.4)	種別 (表9.3.1)~(表9.3.3)	10	2 テラソ張り (10.2.1)	種石の種類	11	5 張付け用材料 (11.3.3)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 F	12	7 床張り用合板 (12.2.1)	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材																
		種別			種石の大きさ			形状・寸法等			表面仕上げ	6 陶磁器質タイル型枠先付け (11.4.2) (11.4.3)	タイルの種類	使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理										
		AS-T1 AS-T2 AS-J1			表9.3.1			大理石			1.5~12mm			施工箇所・タイルの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	工法その他	表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工						
		AS-T3 AS-T4 AS-J2			表9.3.2											磁器	無釉	有り	標準								
		AS1-T1 AS1-J1			表9.3.3											磁器	無釉	有り	標準								
3 合成高分子系ルーフシート防水 (9.4.2) ~ (9.4.4)	種別 (表9.4.1) (表9.4.2)	4 塗膜防水 (9.5.3)	3 壁の石張り工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.3) (10.4.3) (10.5.3)	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	12	1 揮発性有機化合物対策 (12.2.1) (12.2.2)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量	7 床張り用合板 (12.2.1)	普通合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																
	S-F1							表9.4.1		内壁石張り	工法	外壁湿式工法 ( 流し流工法 あと施工フカ工法 あと施工フカ-構部流し工法 )	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理					
	S-F2									工法	内壁空積工法 ( あと施工アンカー-構部流し工法 あと施工アンカー-工法 )	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理						
	S-M1 S-M2 S-M3									工法	乾式工法 ( スライド方式 ロッキング方式 )	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理						
	SI-F1							表9.4.2		工法	乾式工法 ( スライド方式 ロッキング方式 )	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理						
5 ヌイ酸質系塗布防水 (9.6.3)	種別 (表9.5.1) (表9.5.2)	6 漏水試験	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」による製材	7 床張り用合板 (12.2.1)	構造用合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																	
	X-1						表9.5.1		取付工法	外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理					
	X-2								取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理					
	Y-1						表9.5.2		石の厚さ	mm	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
	Y-2								裏面及び裏打ち処理	行わない 行う	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
6 保証書	種別 (表9.6.2)	7 保証書	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	11	6 集材材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材	7 床張り用合板 (12.2.1)	構造用合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																	
	C-UI						表9.6.2		取付工法	外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理					
	C-UP								取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理					
									石の厚さ	mm	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
									石裏面処理	行わない 行う	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
10	1 天然石張り (10.2.1)	種別 (表9.6.2)	7 保証書	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	11	6 集材材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材	7 床張り用合板 (12.2.1)	構造用合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																
		種別						種石の種類		種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ	5 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。	工事完成までに、京都府内産木材証明書及びウッド・メルツ CO2計算書を提出すること。	証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。	京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-211/8895 URL: http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php 注) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。	工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。	代用樹種 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可)	不可	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	造作用集成材	使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
		C-UI						表9.6.2		取付工法	外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
		C-UP								取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
										石の厚さ	mm	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理			
10	1 天然石張り (10.2.1)	種別 (表9.6.2)	7 保証書	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	11	6 集材材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材	7 床張り用合板 (12.2.1)	構造用合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																
		種別						種石の種類		種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ	5 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。	工事完成までに、京都府内産木材証明書及びウッド・メルツ CO2計算書を提出すること。	証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。	京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-211/8895 URL: http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php 注) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。	工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。	代用樹種 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可)	不可	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	造作用集成材	使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
		C-UI						表9.6.2		取付工法	外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
		C-UP								取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
										石の厚さ	mm	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理			
10	1 天然石張り (10.2.1)	種別 (表9.6.2)	7 保証書	4 床及び階段の石張り (10.6.2) (10.6.3)	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	11	6 集材材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材	7 床張り用合板 (12.2.1)	構造用合板	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材																
		種別						種石の種類		種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ	5 樹種 (12.2.1)	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。	工事完成までに、京都府内産木材証明書及びウッド・メルツ CO2計算書を提出すること。	証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。	京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-211/8895 URL: http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php 注) 証明書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。	工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。	代用樹種 可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可)	不可	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	造作用集成材	使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率
		C-UI						表9.6.2		取付工法	外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法	表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
		C-UP								取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 ( 化粧加工したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理				
										石の厚さ	mm	取付金物		表示がある場合 F	表示がない場合	非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ( 塗装していないもの )	非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ( 塗装したもの )	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理			

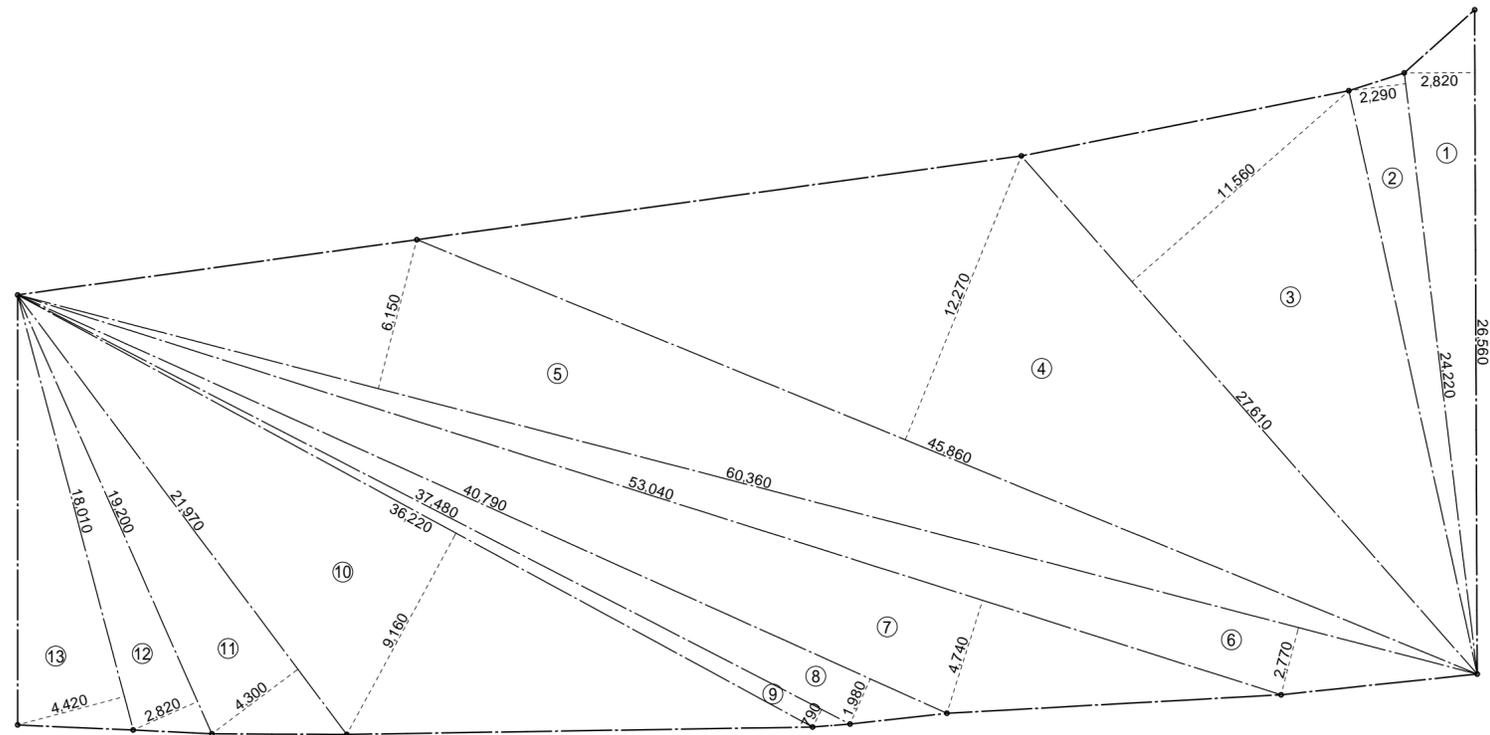
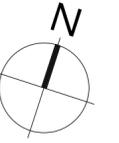


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
16 建具工事	引き戸 (表16.8.1)	金物の種類 見え掛り部の材質 その他 引戸用錠 木製建具の場合 :ツリダ-カ-等はアルミ クレセント 建具製作所の仕様による。 取付位置 ( ) 引手類 木製建具の場合:アルミ (黄銅) 戸車 (上吊りの場合を除く) レール ステンレス、黄銅は木製建具用のみ (上吊りの場合を除く) (アルミニウム合金 黄銅)	16 建具工事	⑮ ガラス留め材 (表9.7.1) (16.14.2)	建具の種類 材 質 アルミニウム製 シーリング材(SR-1) ガスケット グレイジングチャンネル 鋼製・軽量鋼製・ステンレス製 シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種 木製 パテ(木製用) 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。	18 塗装工事	④ 錆止め塗料塗り (表18.3.1)~(表18.3.4) (18.3.2) (18.3.3)	錆止め塗料の種類 (表18.3.1)~(表18.3.4) 塗面 種別 屋外 屋内 規格名称 塗料種類 塗装工程種別 備考 鉄鋼面 A種 B種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 銅面 C種	19 内装工事	7 防滑性床シート、床タイル (19.2.2)	種類 性能 厚さ(mm) 防滑性床シート 防滑性床タイル
	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2)~(16.9.4)	種類 開閉装置性能値 センサの種類 その他 片引き SSLD-1 表5.8.1 マットスイッチ クラッシュスイッチ 補助センサを併用する 引分け DSLD-1 熱線スイッチ ペダスイッチ DSL-2 音波スイッチ 多機能トリスイッチ 片開き SWD-1 表5.8.2 光電スイッチ SWD-2 電波スイッチ		19 ガラスブロック (16.14.5)	寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 パターン 防火認定 x 図示 クリア 乳白 カラー( ) 熱線反射 なし あり 品質規格はJIS A 5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。		⑤ 塗装工程 (18.4.1)~(18.14.2)	工程の種別 (表18.4.1)~(表18.14.1) 記号 名称 種別 SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 屋内 A種 B種 屋外 A種 B種 鉄鋼面 A種 B種 亜鉛めっき鋼面 表18.4.3による C/L クリヤラッカー塗り A種 B種 NAD アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り A種 B種 D/P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 表18.7.1による 亜鉛めっき鋼面 表18.7.2による コクリット及び押出成形セメント板 A種 B種 C種 E/P-G つや有合成樹脂エポキシペイント塗り コクリット、モルタル、アスファルト、セッコウボード、その他ボード面 A種 B種 木部 表18.8.2による 鉄鋼面 屋内 表18.8.3による 亜鉛めっき鋼面 屋内 表18.8.4による E/P 合成樹脂エポキシペイント塗り A種 B種 E/P-T 合成樹脂エポキシ模様塗料塗り A種 B種 U/C ウレタン樹脂ワニス塗り A種 B種 L/E ラッカーエナメル塗り A種 B種 O/S オイルステイン塗り 表18.13.1による W/P 木材保護塗料塗り A種 B種		8 ビニル幅木 (19.2.2)	種類 寸法(mm) 厚さ(mm) 軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0
	13 自閉式上吊り引戸装置(16.10.3)	凍結防止装置 設ける 設けない 性能値等の区分 (表16.10.1) 適用戸の総質量(kg) 40以下 40を超えるもの 手動開き力(N) 15以下 20以下 手動閉じ力(N) 15以下 20以下 性能等 品質・規格		20 ポリカーボネイト樹脂板 種類 厚さ mm	1 性能 (17.1.3) 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 耐風圧性 S4 S5 S6 耐震性 水平方向(KH) 1.0 鉛直方向(KV) 0.5 水密性 W1 W2 W3 W4 W5 気密性 A1 A2 A3 A4 耐火性 図示 30分 1時間 耐温度差性( ) 80 70 60 遮音性 T1 T2 T3 T4 断熱性 H1 H2 H3 H4 H5		11 合成樹脂塗り床 (19.3.3) (19.3.4)	種類 織り方 バイル形状 帯電性 施工箇所 A種 B種 C種 適用 タフテッドカーベットの バイル形状 バイル長さ(mm) 工法 帯電性 施工箇所 ケルパ-工法 全面接着工法 適用 ニードルパンチカーベットの 厚さ(mm) 帯電性 施工箇所 適用 タイルカーベットの 種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 1種 ループバイル 500×500 6.5 タイルカーベットの敷き方 平場部分 市松敷き 階段部分 模様流し			
	14 重量シャッター (16.11.2)~(16.11.4)	種類 一般重量シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 開閉方式 上部電動式(手動併用) 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) スラット及びシャッターケース用鋼板 材質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの		17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール (17.2.2)~(17.2.3) 材料 アルミニウム製 形状・寸法 図示による 断熱材 図示による 見え掛り仕上げ A-1種(無着色) A-2種(着色)		11 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)	種類 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 1種 ループバイル 500×500 6.5 タイルカーベットの敷き方 平場部分 市松敷き 階段部分 模様流し 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm 見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による			
	⑮ 軽量シャッター (16.12.2)~(16.12.4)	開閉方式 上部電動式(手動併用) 手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) 耐風圧強度 スラット 材質 めっきの付着量 形状 JIS G 3312 Z06又はF06を満足するもの インターロッキング形 JIS G 3322 A290を満足するもの オーバーラッピング形		3 PCカーテンウォール (17.1.3) (17.3.2)~(17.3.3) 耐風圧性 耐震性 水密性 気密性 耐火性 形状・仕上げ 材料 取付 ガラスの取付 コンクリート 種類 品質	19 内装工事		1 揮発性有機化合物対策 (19.2.2)(19.3.3) (19.4.2)(19.5.2) (19.5.4)(19.5.5) (19.7.2)(19.8.2) (19.9.2) F 塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F ビニル床シート・タイル、ゴム床タイル、カーペット、フローリング、ボード類、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F	11 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)		厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流し層仕上げ 厚膜流し層仕上げ(平滑 防滑) 樹脂モルタル仕上げ(平滑 防滑) 薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材	
	16 オーバーヘッドドア (16.13.2)~(16.13.4)	セクション材 マルチプル アルミニウム製 アルミ-ガラス製 耐風圧性能 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 (電動式には保護装置を設ける。) 収納形式 スタンダード型 ローヘッド型 ハイリフト型 パーチカル型 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板		4 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2)(17.3.2) 表9.7.1による	5 構造用ガスケット (17.2.2)(17.3.2) 形状 図示による 寸法 図示による		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所 発泡層無 単層ビニル床シート TS 2.5 無地 熱溶接 仕上表による 発泡層有 複層ビニル床シート FS 2.0 マーブル 発泡層有 複層ビニル床シート HS クッションフロア KS		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	単層フローリング (表19.5.1)~(表19.5.6) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
	⑰ ガラス (16.14.2)~(16.14.4)	材料 種別 種類等 種別 種類等 ガラスの大きさ (表16.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 表16.14.1 表16.14.1 表16.14.1 鋼製建具 ステンレス建具 熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う ( )		18 塗装工事	① 塗装業者 (表18.2.1)~(表18.2.7) 日本塗装工業会の会員 監督職員の承諾する塗装業者 ② 塗装材料 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F ③ 築地ごしらえ (18.2.2)~(18.2.7) 素地 種別 備考 木部 A種 B種 透明塗料の場合はB種とする 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による モルタル及びプラスター面 A種 B種 C種 コクリット及びALCパネル面 A種 B種 C種 コクリット及び押出成形セメント板面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による せっこうボード及びその他ボード面 A種 B種 C種 継目処理工法はA種とする。		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 性能 厚さ(mm) 帯電防止床シート 体積抵抗値 1.0×10 <sup>9</sup> 以下 帯電防止床タイル 種類 寸法(mm) 寸法(mm) 塩化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はセラミック質タイル		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 厚さ(mm) 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
	16 オーバーヘッドドア (16.13.2)~(16.13.4)	セクション材 マルチプル アルミニウム製 アルミ-ガラス製 耐風圧性能 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 (電動式には保護装置を設ける。) 収納形式 スタンダード型 ローヘッド型 ハイリフト型 パーチカル型 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板		4 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2)(17.3.2) 表9.7.1による	5 構造用ガスケット (17.2.2)(17.3.2) 形状 図示による 寸法 図示による		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所 発泡層無 単層ビニル床シート TS 2.5 無地 熱溶接 仕上表による 発泡層有 複層ビニル床シート FS 2.0 マーブル 発泡層有 複層ビニル床シート HS クッションフロア KS		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	単層フローリング (表19.5.1)~(表19.5.6) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
	⑰ ガラス (16.14.2)~(16.14.4)	材料 種別 種類等 種別 種類等 ガラスの大きさ (表16.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 表16.14.1 表16.14.1 表16.14.1 鋼製建具 ステンレス建具 熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う ( )		18 塗装工事	① 塗装業者 (表18.2.1)~(表18.2.7) 日本塗装工業会の会員 監督職員の承諾する塗装業者 ② 塗装材料 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F ③ 築地ごしらえ (18.2.2)~(18.2.7) 素地 種別 備考 木部 A種 B種 透明塗料の場合はB種とする 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による モルタル及びプラスター面 A種 B種 C種 コクリット及びALCパネル面 A種 B種 C種 コクリット及び押出成形セメント板面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による せっこうボード及びその他ボード面 A種 B種 C種 継目処理工法はA種とする。		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 性能 厚さ(mm) 帯電防止床シート 体積抵抗値 1.0×10 <sup>9</sup> 以下 帯電防止床タイル 種類 寸法(mm) 寸法(mm) 塩化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はセラミック質タイル		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 厚さ(mm) 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
	16 オーバーヘッドドア (16.13.2)~(16.13.4)	セクション材 マルチプル アルミニウム製 アルミ-ガラス製 耐風圧性能 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 (電動式には保護装置を設ける。) 収納形式 スタンダード型 ローヘッド型 ハイリフト型 パーチカル型 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板		4 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2)(17.3.2) 表9.7.1による	5 構造用ガスケット (17.2.2)(17.3.2) 形状 図示による 寸法 図示による		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	区分 種類 記号 厚さ(mm) 色柄 工法 施工箇所 発泡層無 単層ビニル床シート TS 2.5 無地 熱溶接 仕上表による 発泡層有 複層ビニル床シート FS 2.0 マーブル 発泡層有 複層ビニル床シート HS クッションフロア KS		12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	単層フローリング (表19.5.1)~(表19.5.6) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート
⑰ ガラス (16.14.2)~(16.14.4)	材料 種別 種類等 種別 種類等 ガラスの大きさ (表16.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 表16.14.1 表16.14.1 表16.14.1 鋼製建具 ステンレス建具 熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う ( )	18 塗装工事	① 塗装業者 (表18.2.1)~(表18.2.7) 日本塗装工業会の会員 監督職員の承諾する塗装業者 ② 塗装材料 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F ③ 築地ごしらえ (18.2.2)~(18.2.7) 素地 種別 備考 木部 A種 B種 透明塗料の場合はB種とする 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による モルタル及びプラスター面 A種 B種 C種 コクリット及びALCパネル面 A種 B種 C種 コクリット及び押出成形セメント板面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による せっこうボード及びその他ボード面 A種 B種 C種 継目処理工法はA種とする。	12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 性能 厚さ(mm) 帯電防止床シート 体積抵抗値 1.0×10 <sup>9</sup> 以下 帯電防止床タイル 種類 寸法(mm) 寸法(mm) 塩化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はセラミック質タイル	12 フローリング張り (19.5.2)~(19.5.7)	種類 厚さ(mm) 備考 フローリング ボード なら 8 あり 釘留め工法 12 なし 根太張り工法 15 直張り工法 接着工法 フローリング ブロック なら 8 特殊埋込工法 防水処理足金物付 15 接着工法 モザイク パーケット 接着工法 複合フローリング (種別 1種 2種 3種) 種類 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 1×6タイプ フローリング ボードタイプ なら 8 あり 釘留め工法 15 あり 根太張り工法 なし A種 B種 C種 直張り工法 A種 B種 C種 接着工法 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 合成樹脂発泡シート				



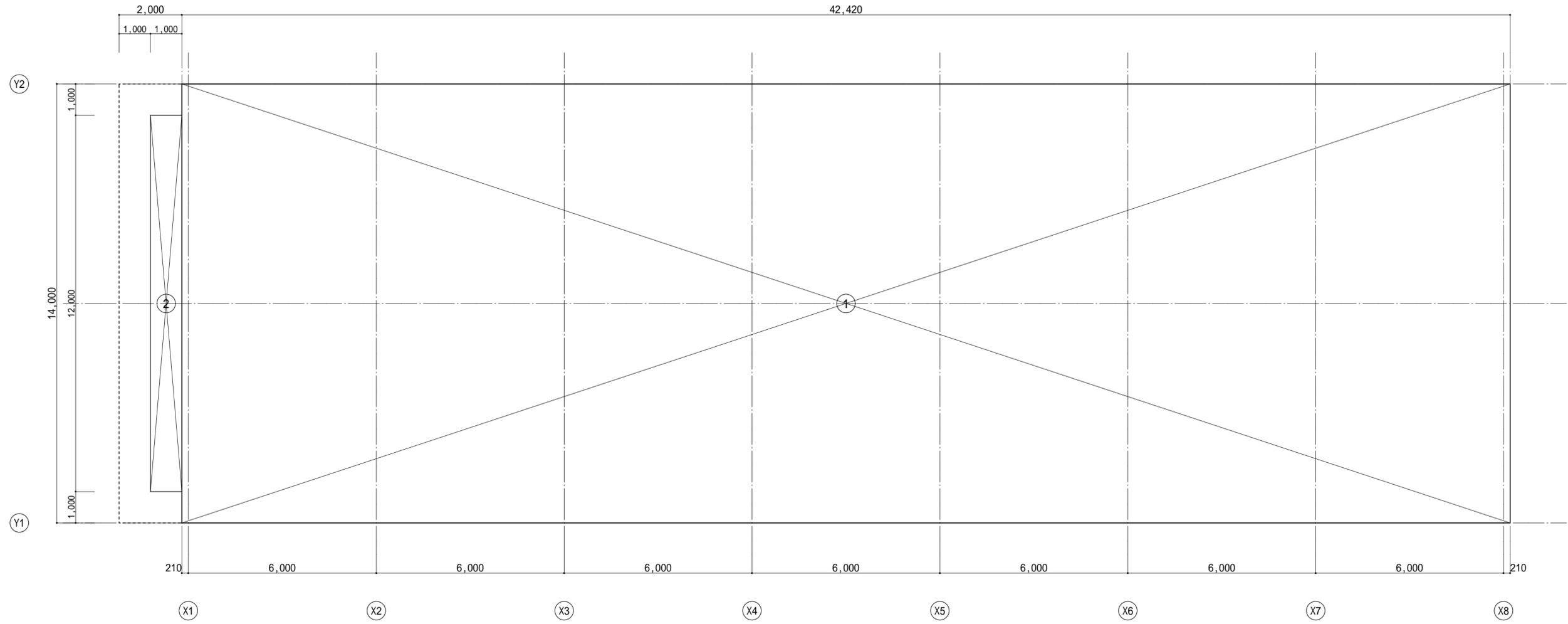
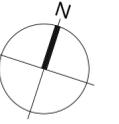
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																							
22	舗装工事	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>加熱系アスファルト混合物</td> <td></td> <td>車道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加剤</td> <td>着色骨材 自然石</td> <td>歩道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材</td> <td>アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7アスファルト混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>適用する</td> <td>適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車道部の基層</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>適用する</td> <td>適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の厚さ</td> <td>車道部(基層なし) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>車道部(基層あり) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩道部 _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系樹脂系混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系シート工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種	類	部 位	配合その他	加熱系アスファルト混合物		車道部		添加剤	着色骨材 自然石	歩道部		結合材	アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)			7アスファルト混合物等の抽出試験				適用する	適用しない			車道部の基層				適用する	適用しない			舗装の厚さ	車道部(基層なし) _____ mm				車道部(基層あり) _____ mm				歩道部 _____ mm			常温系樹脂系混合物				常温系シート工法				常温系塗布工法				23	植栽及び屋上緑化工事	5 屋上緑化 (23.5.2) ~ (23.5.4)	屋上緑化システム 排水層 軽量骨材 (厚さ _____) 板状成形品 土壌層 改良土 (厚さ _____) 人工軽量土 (厚さ _____) 屋上緑化軽量システム 樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 芝・地被類の種類 図示による コウライシバ ( 目地張り _____ ) ノシバ ( 目地張り _____ ) セダム類 ( カット ふるい プラグ苗 _____ ) 材料 見切材 _____ 舗装材 _____ 水抜き管 _____ 排水材 _____ かん水装置 設置する ( _____ ) 設置しない 支柱材 設置する 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太 _____ 設置しない 引渡しの日から1年 引渡しの日から _____年	種 類	寸 法	数 量	備 考												
		種	類	部 位	配合その他																																																																										
		加熱系アスファルト混合物		車道部																																																																											
		添加剤	着色骨材 自然石	歩道部																																																																											
		結合材	アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)																																																																												
		7アスファルト混合物等の抽出試験																																																																													
		適用する	適用しない																																																																												
		車道部の基層																																																																													
		適用する	適用しない																																																																												
		舗装の厚さ	車道部(基層なし) _____ mm																																																																												
	車道部(基層あり) _____ mm																																																																														
	歩道部 _____ mm																																																																														
常温系樹脂系混合物																																																																															
常温系シート工法																																																																															
常温系塗布工法																																																																															
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																												
6 透水性舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による 舗装厚さの試験 行う 行わない 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	6 新植、移植樹木、 芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)																																																																													
7 排水性舗装 (22.8.2) ~ (22.8.6)	舗装構成及び厚さ 図示による 舗装厚さの試験 行う 行わない アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない																																																																														
8 ブロック系舗装 (22.9.2) (22.9.3)	コンクリート平板舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>カラー平板(C)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>洗出平板(W)</td> <td>凝石(S)</td> <td></td> <td></td> <td>モルタル</td> </tr> </table> 品質・規格 _____ インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>標準ブロック</td> <td>京ワゴン</td> <td>80</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td>透水性ブロック</td> <td></td> <td>60 80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植生ブロック</td> <td></td> <td>60 80 100</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ 舗石舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>規 格 品</th> </tr> <tr> <td>小舗石 (花崗岩)</td> <td></td> <td>80~100</td> <td>うろこ張り</td> <td>2等品</td> </tr> </table> 品質・規格 _____	種	類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地	普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂	洗出平板(W)	凝石(S)			モルタル	種	類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等	標準ブロック	京ワゴン	80	標準品	透水性ブロック		60 80		植生ブロック		60 80 100		種	類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品	小舗石 (花崗岩)		80~100	うろこ張り	2等品																																					
種	類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地																																																																											
普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂																																																																											
洗出平板(W)	凝石(S)			モルタル																																																																											
種	類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等																																																																												
標準ブロック	京ワゴン	80	標準品																																																																												
透水性ブロック		60 80																																																																													
植生ブロック		60 80 100																																																																													
種	類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品																																																																											
小舗石 (花崗岩)		80~100	うろこ張り	2等品																																																																											
9 砂利敷き (22.10.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする																																																																														
10 白線引き	種 類 溶融式 ベイント式 幅 (cm) 15 _____																																																																														
23	植栽及び屋上緑化工事	1 植栽基礎整備 (23.2.2) (23.2.3)	行う <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>12m以上</td> <td>100 120 150</td> <td>A種</td> <td>植込み部分</td> </tr> <tr> <td>7~12m未満</td> <td>80 100</td> <td>B種</td> <td>葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>3~7m未満</td> <td>60 80</td> <td>C種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>50 60</td> <td>D種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>芝、地被類</td> <td>20</td> <td>B種</td> <td>植栽範囲</td> </tr> </table> 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 植込み用土 現場発生土の良質土 客土 ( 畑土 黒土 ) 土壌改良材 行う ( バーク堆肥 下水汚泥カス ) 施工箇所 植込み部分 図示による	樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲	12m以上	100 120 150	A種	植込み部分	7~12m未満	80 100	B種	葉張りの範囲	3~7m未満	60 80	C種	(樹高7m以上)	3m未満	50 60	D種	図示	芝、地被類	20	B種	植栽範囲																																																				
		樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																																																																										
		12m以上	100 120 150	A種	植込み部分																																																																										
		7~12m未満	80 100	B種	葉張りの範囲																																																																										
3~7m未満	60 80	C種	(樹高7m以上)																																																																												
3m未満	50 60	D種	図示																																																																												
芝、地被類	20	B種	植栽範囲																																																																												
2 樹木の種類等 (23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																										
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																												
3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)	支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太 _____ 幹巻き材料 幹巻き用テープ わら及びこも																																																																														
4 芝 (23.4.2) (23.4.3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="3">芝 張 り の 工 法</th> <th rowspan="2">客 土</th> </tr> <tr> <th>平地</th> <th>切土法面</th> <th>盛土法面</th> </tr> <tr> <td>コウライシバ</td> <td>目地張り</td> <td>べた張り</td> <td>筋芝張り</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <td>ノシバ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>行う 畑土 黒土</td> </tr> </table>	種 別	芝 張 り の 工 法			客 土	平地	切土法面	盛土法面	コウライシバ	目地張り	べた張り	筋芝張り	行わない	ノシバ				行う 畑土 黒土																																																												
種 別	芝 張 り の 工 法			客 土																																																																											
	平地	切土法面	盛土法面																																																																												
コウライシバ	目地張り	べた張り	筋芝張り	行わない																																																																											
ノシバ				行う 畑土 黒土																																																																											

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	08
NAME	特記仕様書-7	SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW
						A-08



敷地面積算定表			
記号	底辺	高さ	倍面積
①	26.56	2.82	74.8992
②	24.22	2.29	55.4638
③	27.61	11.56	319.1716
④	45.86	12.27	562.7022
⑤	60.36	6.15	371.2140
⑥	60.36	2.77	167.1972
⑦	53.04	4.74	251.4096
⑧	40.79	1.98	80.7642
⑨	37.48	0.79	29.6092
⑩	36.22	9.16	331.7752
⑪	21.97	4.30	94.4710
⑫	19.20	2.82	54.1440
⑬	18.01	4.42	79.6042
計			2,472.4254
1/2			1,236.2127
敷地面積			1,236.21㎡

	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	09
	NAME	敷地面積算定表		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-09	



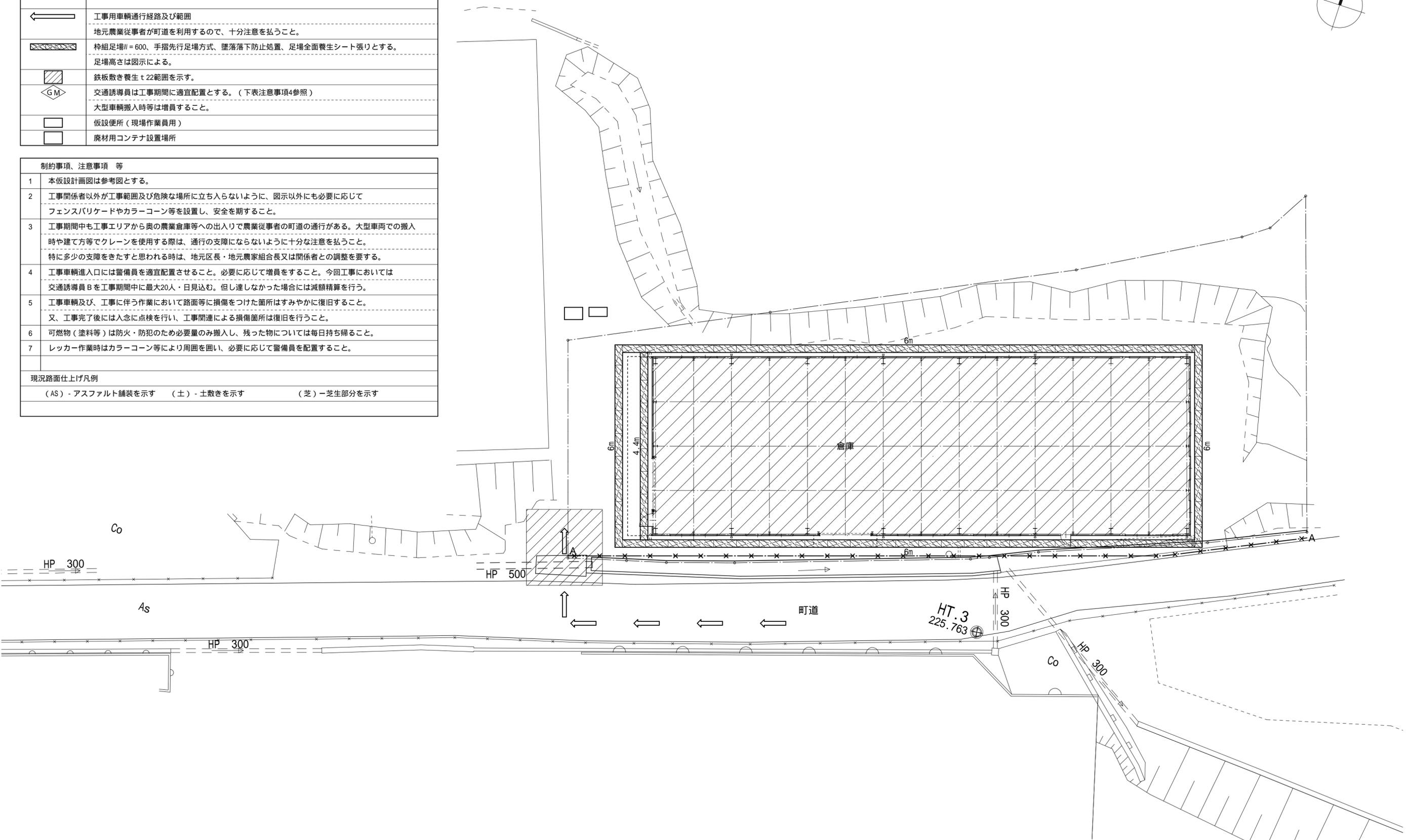
記号	計算式	面積 (m <sup>2</sup> )
①	42.42 × 14.0	593.88
	計	593.88
	面積	593.88m <sup>2</sup>
延床面積		593.88m <sup>2</sup>

記号	計算式	面積 (m <sup>2</sup> )
①	42.42 × 14.0	593.88
②	1.0 × 12.0	12.0
	計	605.88
	面積	605.88m <sup>2</sup>
建築面積		605.88m <sup>2</sup>

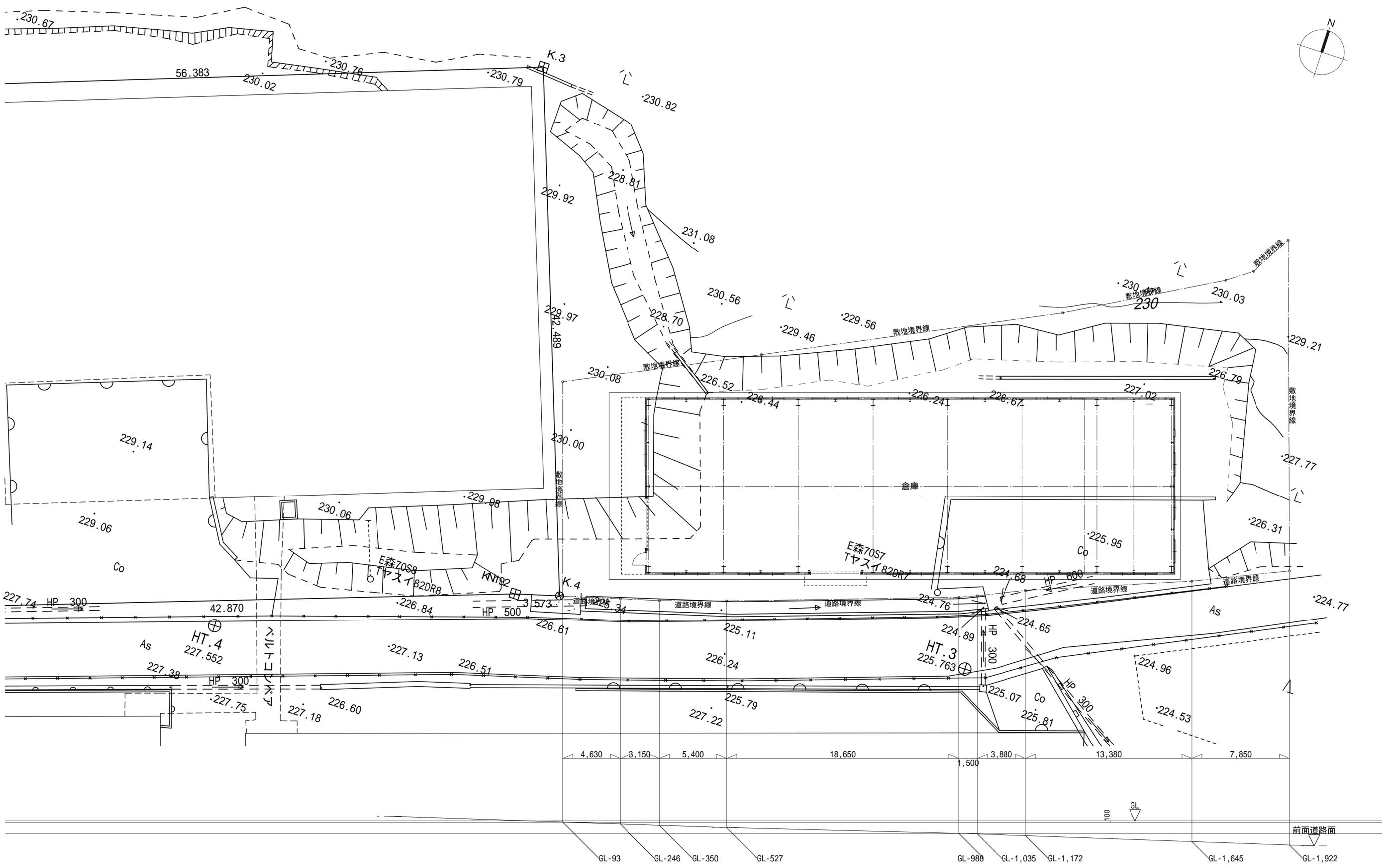
凡 例	
	工事対象建物を示す。
	仮囲い：750x1800設置箇所を示す。(上部金網部シート張り)(本体等工事期間中)
	工車用車輛通行経路及び範囲 地元農業従事者が町道を利用するので、十分注意を払うこと。
	枠組足場W=600、手摺先行足場方式、墜落落下防止処置、足場全面養生シート張りとする。 足場高さは図示による。
	鉄板敷き養生 t 22範囲を示す。
	交通誘導員は工事期間に適宜配置とする。(下表注意事項4参照) 大型車輛搬入時等は増員すること。
	仮設便所(現場作業員用)
	廃材用コンテナ設置場所

制約事項、注意事項 等	
1	本仮設計画図は参考図とする。
2	工事関係者以外が工事範囲及び危険な場所に立ち入らないように、図示以外にも必要に応じてフェンスバリケードやカラーコーン等を設置し、安全を期すること。
3	工事期間中も工事エリアから奥の農業倉庫等への出入りで農業従事者の町道の通行がある。大型車両での搬入時や建て方等でクレーンを使用する際は、通行の支障にならないように十分な注意を払うこと。 特に多少の支障をきたすと思われる時は、地元区長・地元農家組合長又は関係者との調整を要する。
4	工事車輛進入口には警備員を適宜配置させること。必要に応じて増員をすること。今回工事においては交通誘導員Bを工事期間中に最大20人・日見込む。但し遅しなかった場合には減額精算を行う。
5	工事車輛及び、工事に伴う作業において路面等に損傷をつけた箇所はすみやかに復旧すること。 又、工事完了後には入念に点検を行い、工事関連による損傷箇所は復旧を行うこと。
6	可燃物(塗料等)は防火・防犯のため必要量のみ搬入し、残った物については毎日持ち帰ること。
7	レッカー作業時はカラーコーン等により周囲を囲い、必要に応じて警備員を配置すること。

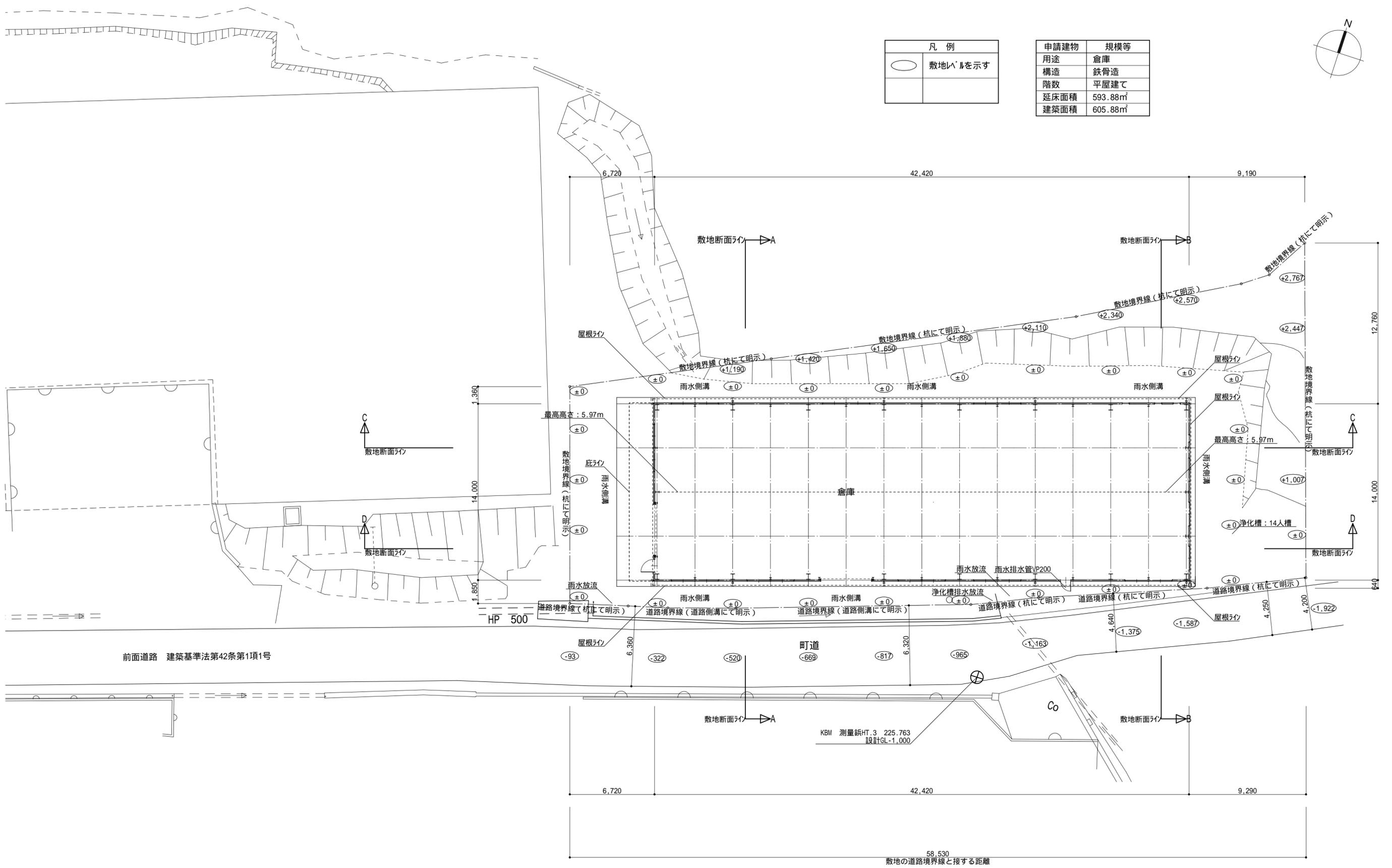
現況路面仕上げ凡例  
 (AS) - アスファルト舗装を示す    (土) - 土敷きを示す    (芝) - 芝生部分を示す



TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	11
NAME	仮設計画図(第1期工事)	SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW
						A-11

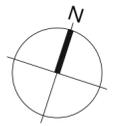


TITLE	京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	12
NAME	配置図 (現況図)		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-12	



凡例	
○	敷地レベルを示す

申請建物	規模等
用途	倉庫
構造	鉄骨造
階数	平屋建て
延床面積	593.88㎡
建築面積	605.88㎡



前面道路 建築基準法第42条第1項1号

KBM 測量紙HT.3 225.763  
設計GL-1.000

58.530  
敷地の道路境界線と接する距離

1級建築士登録第102627号 羽生田英雄

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	13
NAME	配置図		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-13	

内部仕上表

	床	下地	幅木	高さ	壁	下地	天井	塗装	天井高	廻縁	備考
倉庫	コンクリート直コテ押工(増打t10)	土間コンクリートt200	コンクリート打放シ	200	外壁用鋼板、角波サイディング(裏面)	控室側間仕切り壁	折板(裏面)		直天井		
		ポリエチレンフィルムt=0.15	補修		鉄部(鋼材):SOP塗り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁	鉄部(鋼材):SOP塗り				
		捨てコンクリートt50	控室側間仕切り壁		控室側間仕切り壁せっこうボードt12.5	下地100型@450					
			ソフト幅木t2	75	二重張りEP塗り						
(控室)	コンクリート直コテ押工	土間コンクリートt200	ソフト幅木t2	75	ビニルクロス張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁	LGS下地		3,000	塩ビ突付	外壁、間仕切り壁、天井共ガラスウール
	複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	ポリスチレンフォーム断熱材t50			せっこうボードt12.5二重張り	下地100型@450	せっこうボード張りt9.5下地				t100・24kg/m3充填・敷込み
		ポリエチレンフィルムt=0.15				外壁廻り壁:軽量鉄骨壁	ロックール化粧吸音板張りt12凹凸タイプ				壁ガラスウールは天井までとする
		捨てコンクリートt50				下地65型@450					間仕切り壁下部、一部コンクリート面はGL工法とする
						柱型共					24時間換気ガラリ:アルミ固定ルバー
(便所)	コンクリート直コテ押工	軽量コンクリートt260増打	ソフト幅木t2	60	化粧けい酸カルシウム板張りT4	間仕切り壁:軽量鉄骨壁	LGS下地		2,500	塩ビ突付	外壁、天井共ガラスウールt100・24kg/m3
	複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	土間コンクリートt200			シーリングせっこうボードt12.5張り	下地100型@450	けい酸カルシウム板張りt6				充填・敷込み
		捨てコンクリートt50			構造用合板(特類)t9張り	外壁廻り壁:軽量鉄骨壁	(タイプ2、無石綿、0.8FK)				壁ガラスウールは天井までとする
						下地65型@450	EP塗り				便所配管バック面台:マープライトカウンター-甲板
						柱型共					
(シャワー室)	コンクリート直コテ押工	シャワー室通路部分:	ソフト幅木t2	60	化粧けい酸カルシウム板張りT4	間仕切り壁:軽量鉄骨壁	LGS下地		2,500	塩ビ突付	外壁、天井共ガラスウールt100・24kg/m3
	複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	軽量コンクリートt260増打			シーリングせっこうボードt12.5張り	下地100型@450	けい酸カルシウム板張りt6				充填・敷込み
		(シャワールーム下部は無し)			構造用合板(特類)t9張り	外壁廻り壁:軽量鉄骨壁	(タイプ2、無石綿、0.8FK)				壁ガラスウールは天井までとする
		土間コンクリートt200				下地65型@450	EP塗り				
		捨てコンクリートt50				柱型共					
(通路)	コンクリート直コテ押工	軽量コンクリートt260増打	ソフト幅木t2	60	ビニルクロス張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁	LGS下地		2,500	塩ビ突付	外壁、控室側間仕切り壁、天井共ガラスウール
	複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	(階段部同材)			せっこうボードt12.5二重張り	下地100型@450	せっこうボード張りt9.5下地				t100・24kg/m3充填・敷込み
		土間コンクリートt200				外壁廻り壁:軽量鉄骨壁	ロックール化粧吸音板張りt12凹凸タイプ				壁ガラスウールは天井までとする
		捨てコンクリートt50				下地65型@450					階段すべり止め金具ステンレス製、W35、ゴム入り
						柱型共					24時間換気ガラリ:アルミ固定ルバー

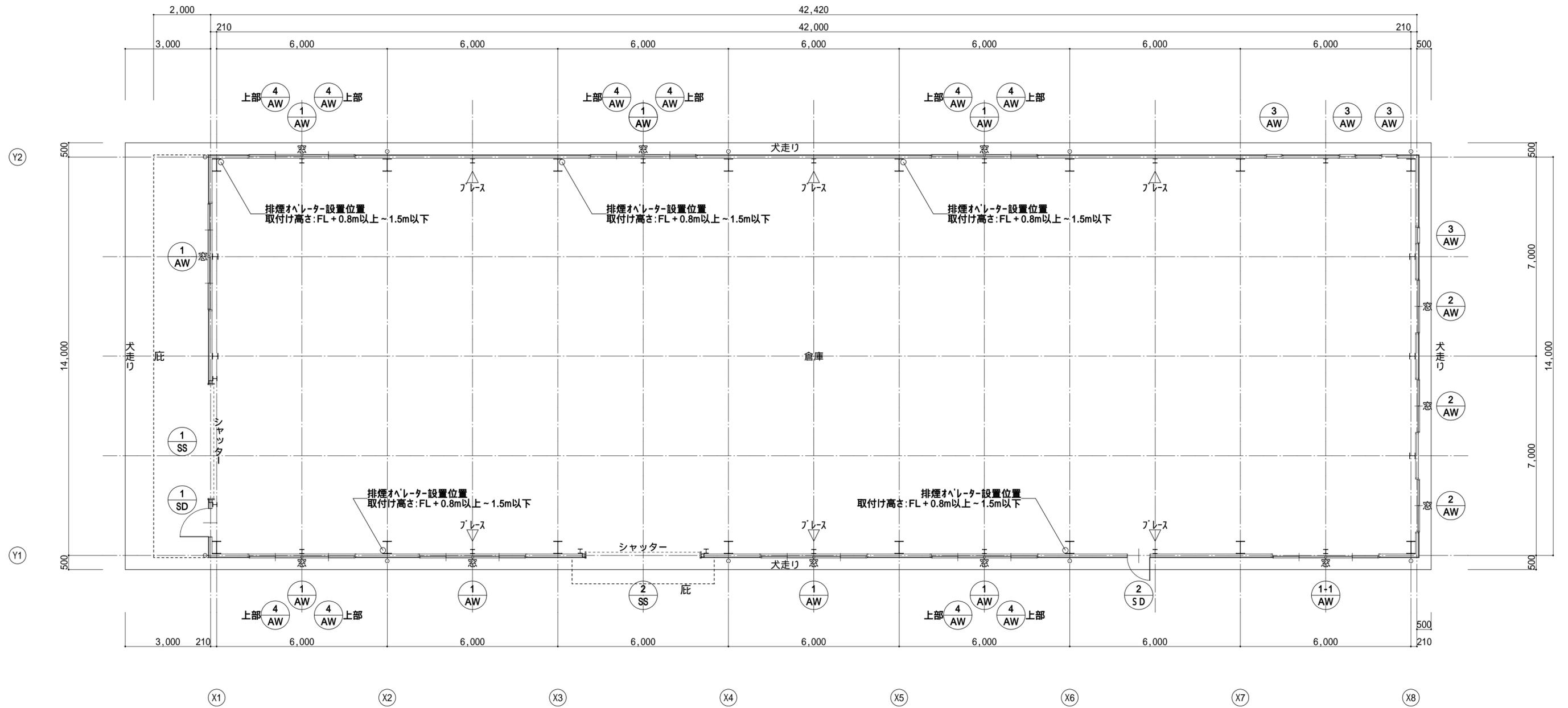
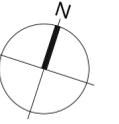
外部仕上表

屋根	ガルバリウム塗装鋼板t=0.8、山高166mmハゼ	外壁	外壁用化粧鋼板t=0.5	幅木	モルタル塗り刷毛引き	軒樋	硬質塩化ビニール製 W200 折板用 既製品(カラー)
	裏貼りポリエチレンフォームt4		ヨド角波サイディング700型、ガルバリウム塗装鋼板		壁取り合い部:水切 ガルバリウム塗装鋼板t=0.4		吊金具、集水器
	棟押え・ケラバ包み・壁取合水切鉄板:ガルバリウム塗装鋼板		外壁コーナー役物:外壁同材				
	軒先面戸166、水上面戸166、軒先化粧フレーム		外壁上部廻縁:外壁同材	犬走り	コンクリート直コテ押工	縦樋	硬質塩化ビニール管カラーVP125
	樋吊金具						掴み金物(亜鉛引き)@1,000内外
庇	ガルバリウム塗装鋼板t=0.8、山高166mmハゼ						
	ケラバ包み・壁取合水切鉄板:ガルバリウム塗装鋼板						
	軒先面戸166、水上面戸166、軒先化粧フレーム						
	樋吊金具						

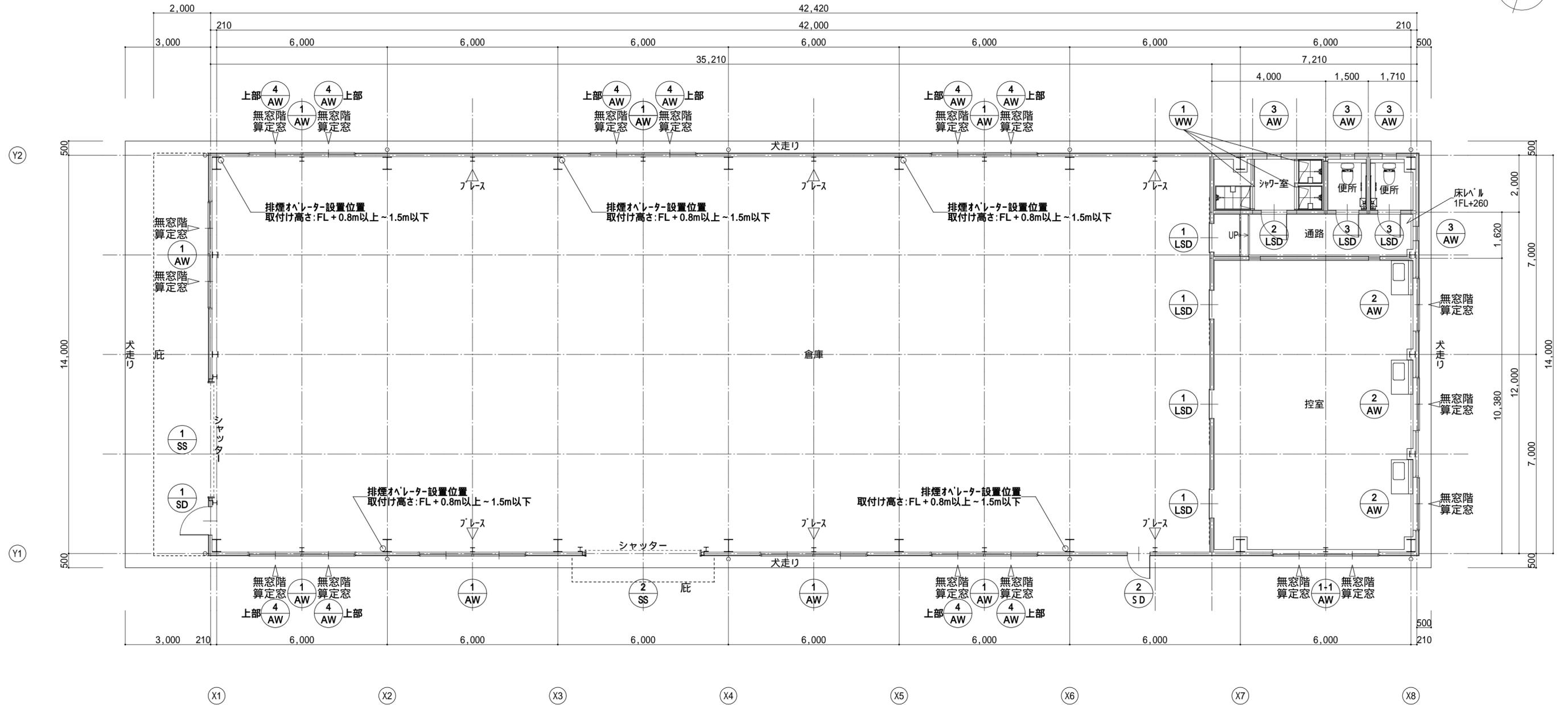
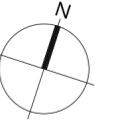
当該建築物に使用する指定建築材料は、建築基準法第37条の規定によるものとする。  
屋根ガルバリウム鋼板大臣認定番号:NM-8697

屋根ガルバリウム鋼板大臣認定番号:NM-8697

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	14
NAME	仕上表		SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW	A-14	



TITLE 京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図		DATE 2017年3月	COA 株式会社 コア建築事務所		NO. 15
NAME 平面図		SCALE 1/100	CHECK	PLAN	DRW
					A-15



$1.8 \times 1.4 \times 5 = 12.6$

$1.8 \times 1.4 \times 1/2 \times 5 = 6.3$

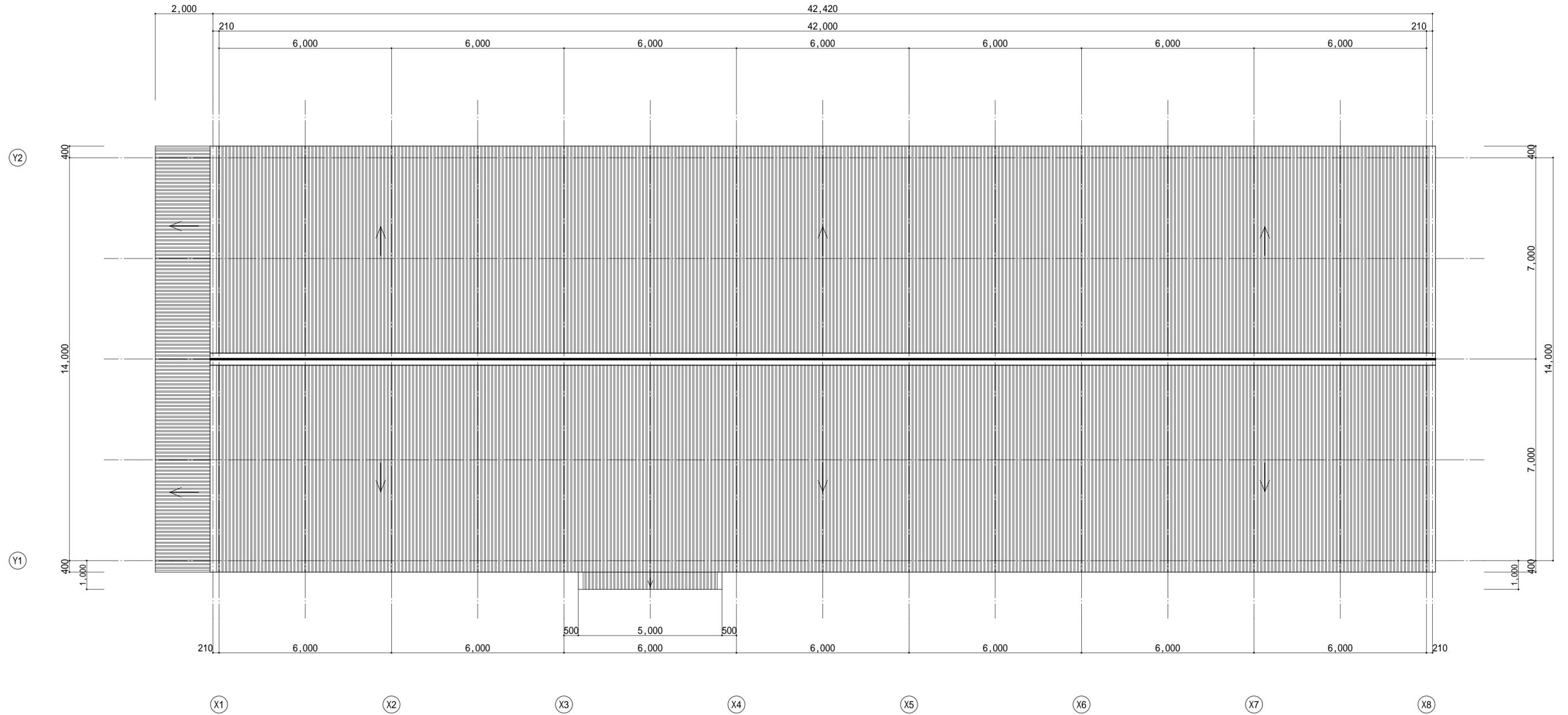
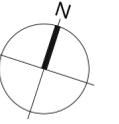
$1.8 \times 0.4 \times 1/2 \times 5 = 1.8$

延床面積	42.42 × 14.0 = 593.88㎡ × 1/30 = 19.796㎡
開口部面積	1.8 × 1.4 × 1/2 = 1.26㎡ × 17 = 21.42㎡
判定	21.42㎡ > 19.80㎡ 消防無窓階とならない

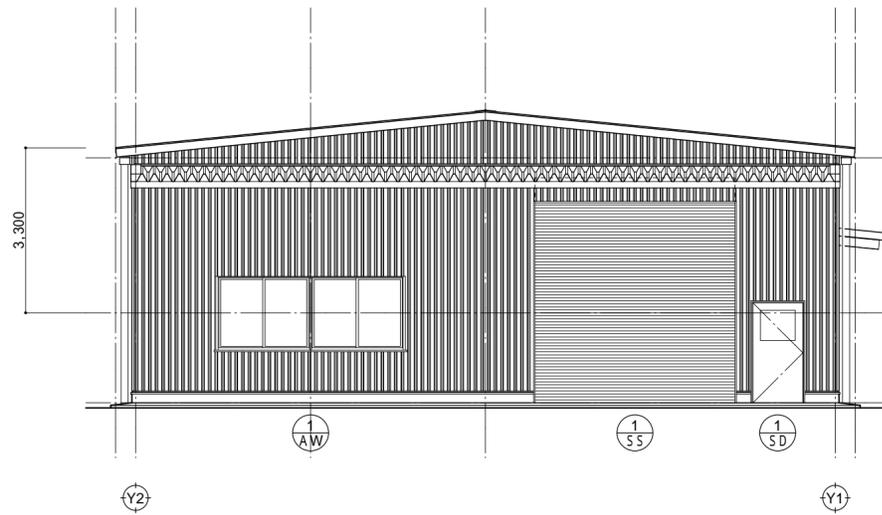
室名	室面積	採光 (1/7)	現状	採光補正係数	有効採光面積	換気 (1/20)	現状	排煙 (1/50)	現状
休憩室	7.21 × 10.38 = 74.83㎡	10.69㎡	12.6	3	37.8	3.74㎡	6.3	1.49㎡	1.8
倉庫	35.21 × 14.0 = 492.94㎡							9.85㎡	11.2

延床面積	593.88㎡ (179.65坪)
建築面積	605.88㎡ (183.27坪)
控室床面積	74.84㎡ (22.64坪)
倉庫床面積	492.94㎡ (149.11坪)

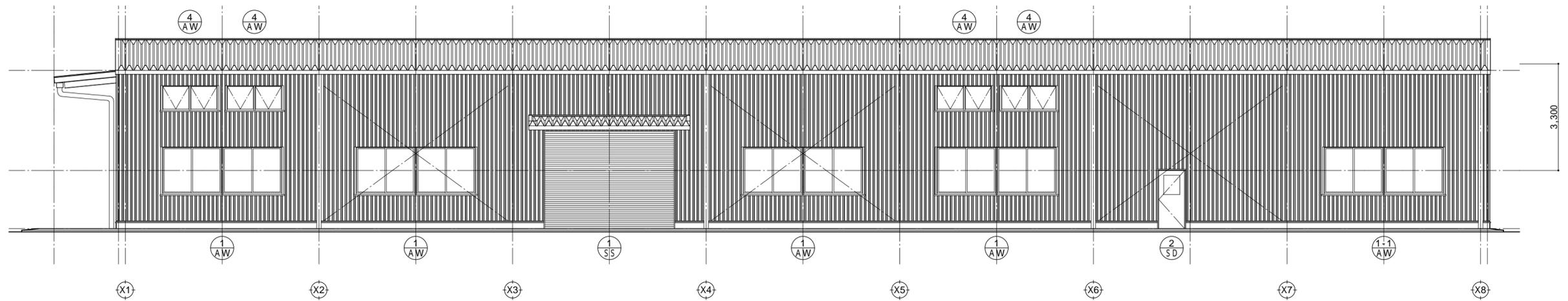
$0.8 \times 0.7 \times 2 \times 10 = 11.2$



TITLE 京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築 工事設計図		DATE 2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. 17
NAME 屋根伏図		SCALE 1/100	CHECK	PLAN	DRW
					A-17

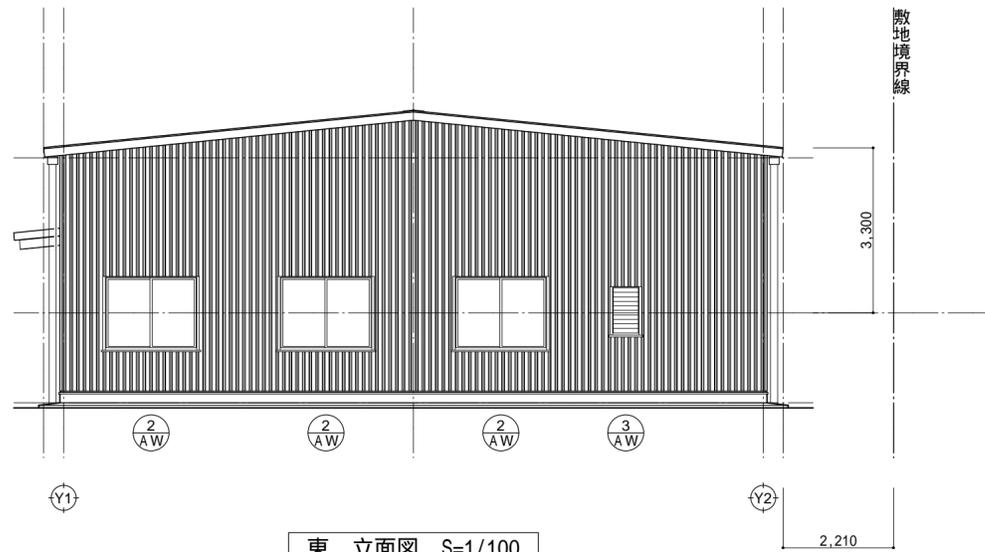


西 立面图 S=1/100

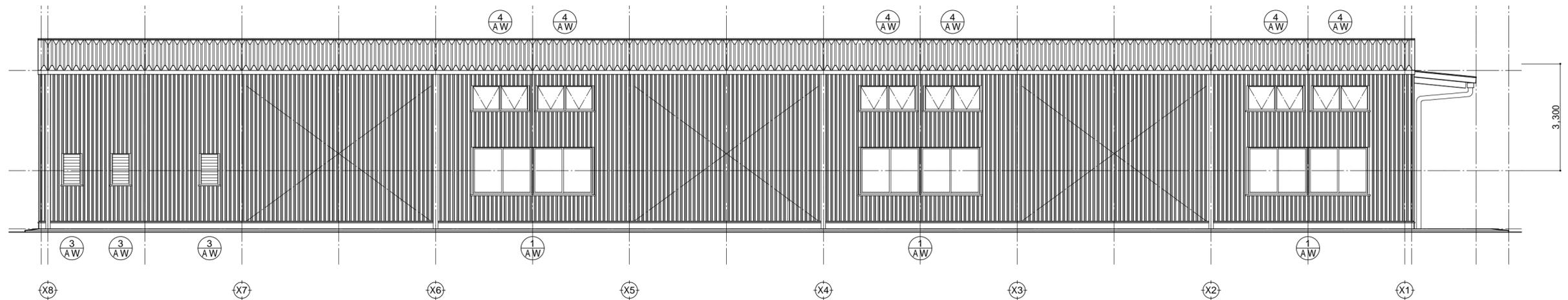


南 立面图 S=1/100

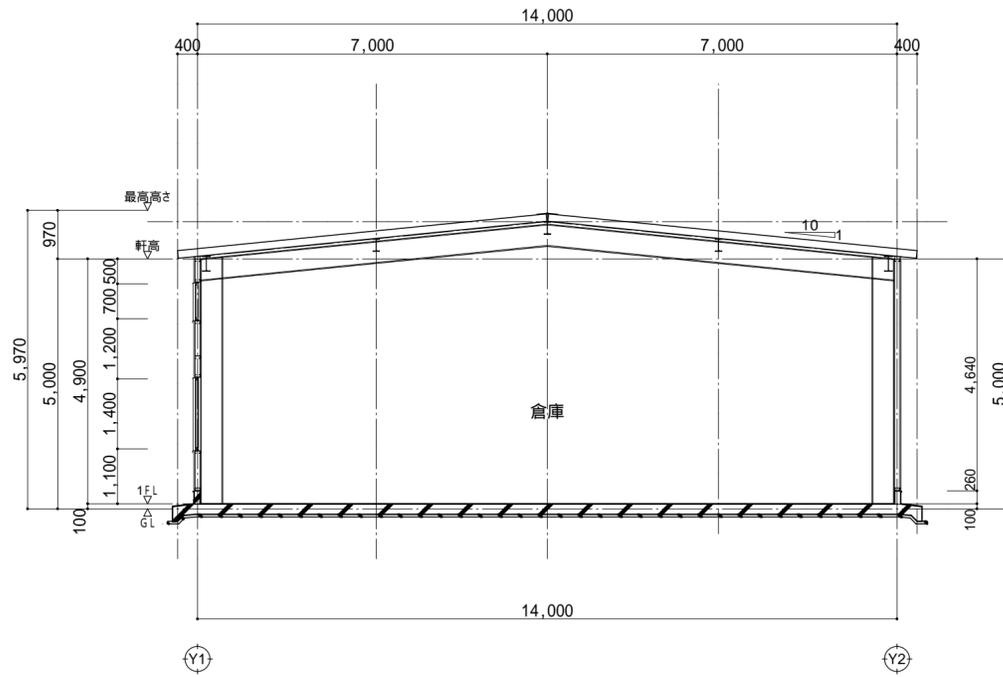
	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所		NO.	18
	NAME	立面图-1		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-18



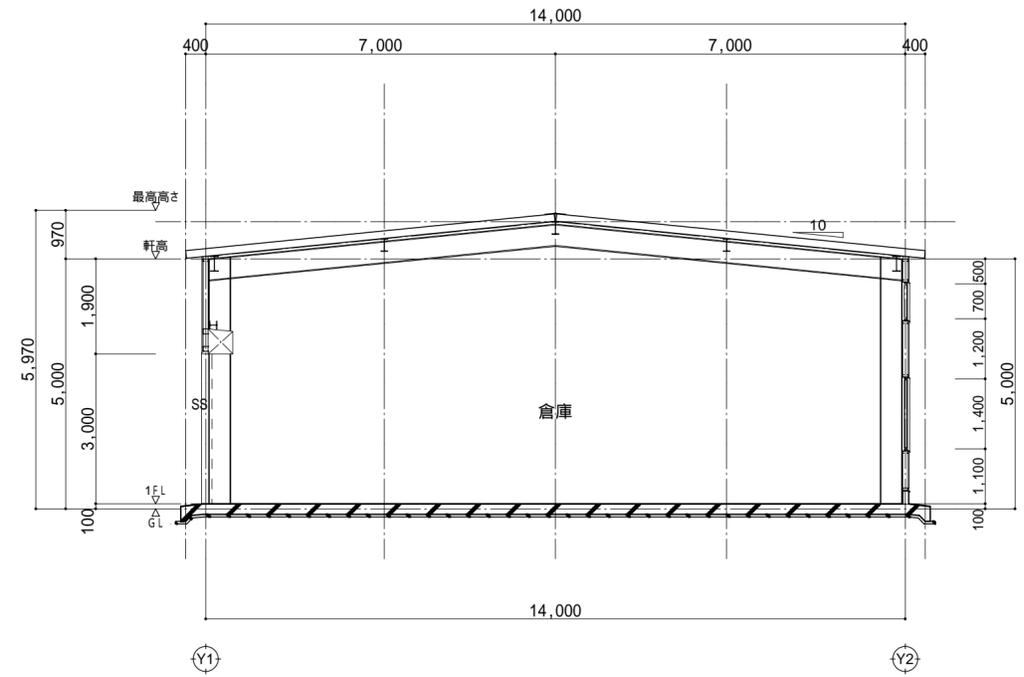
$A = 2,210 / 3,300 \times 10 - 1 = 5.7 > 3$   
 他の窓は上記窓より水平距離が長い為に計算を割愛



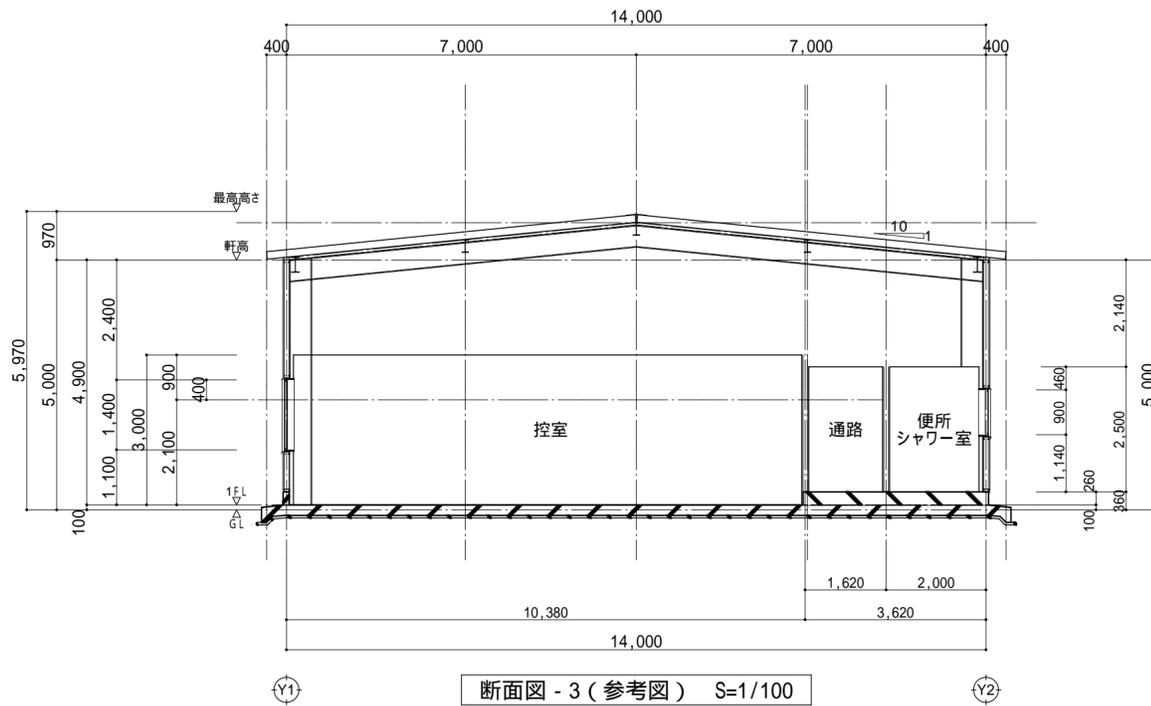
	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	<b>COA</b> 有限会社 コア建築事務所	NO.	19
	NAME	立面図-2		SCALE	1/100		CHECK	PLAN



断面図 - 1 S=1/100

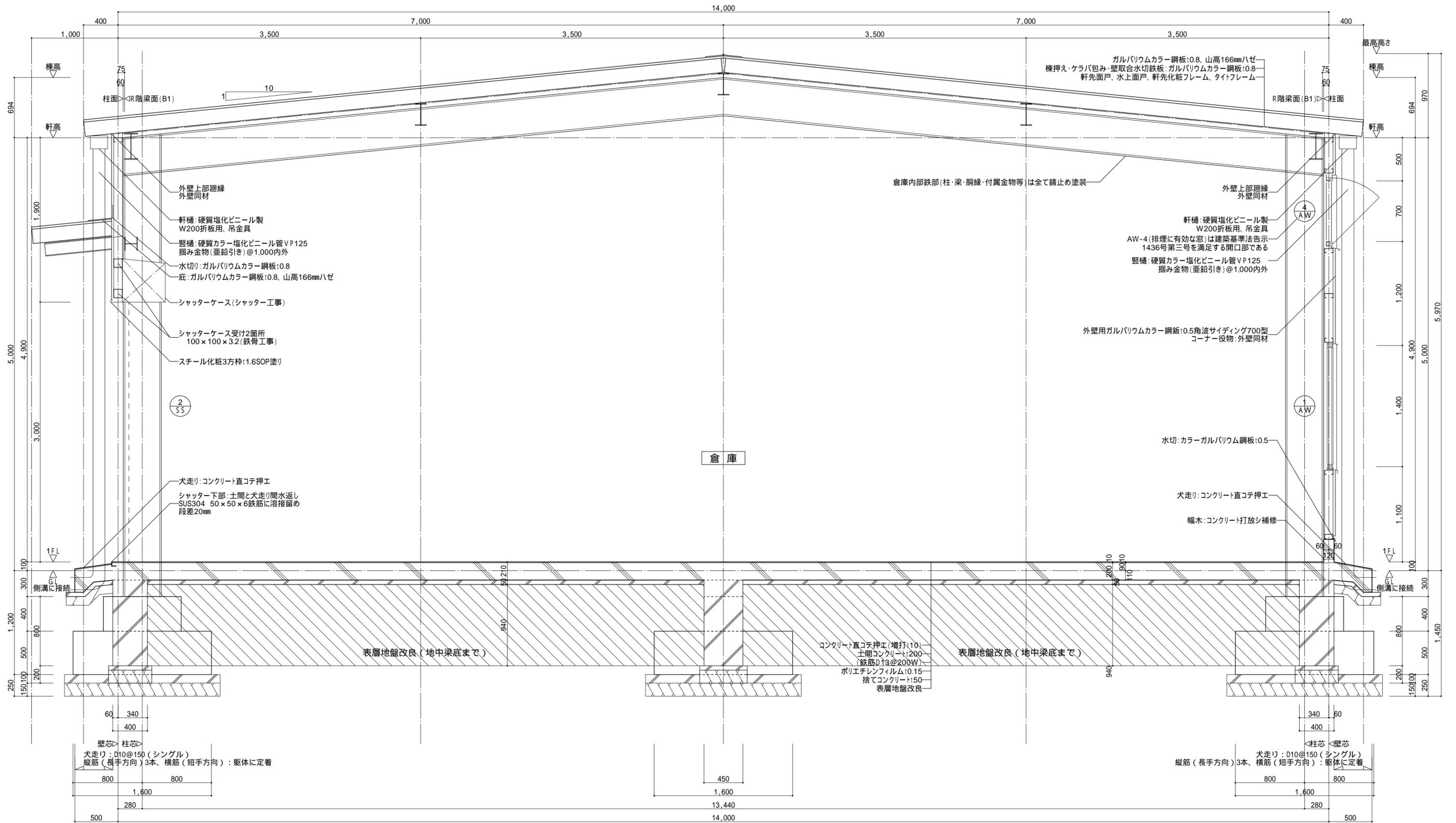


断面図 - 2 S=1/100



断面図 - 3 (参考図) S=1/100

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA	有限会社	コア建築事務所	NO.	20
NAME	断面図		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW		A-20



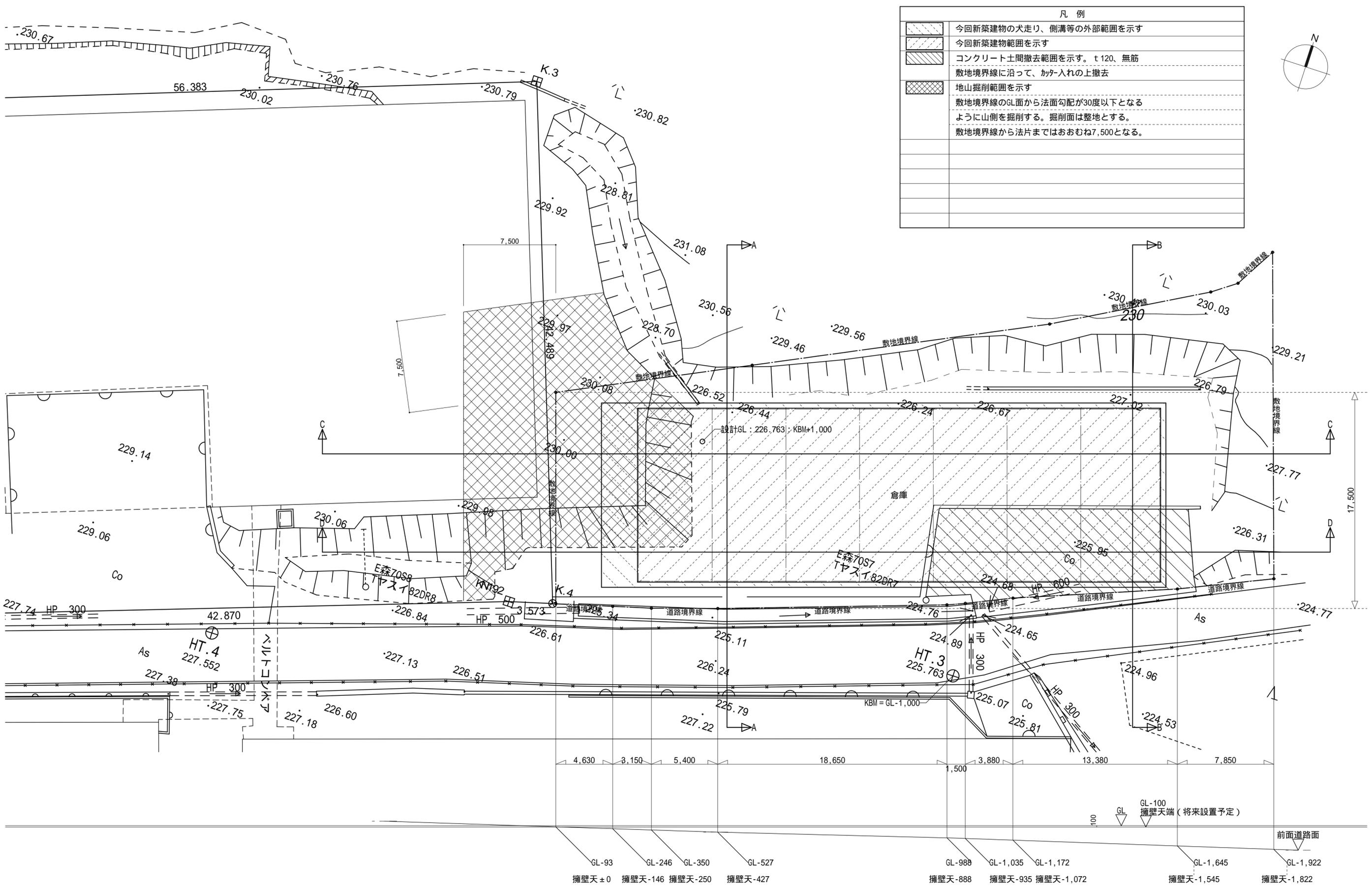
矩計詳細図-1 1/30

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	21
NAME	矩計詳細図-1	SCALE	1/30	CHECK	PLAN	DRW
						A-21

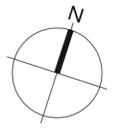


建具表

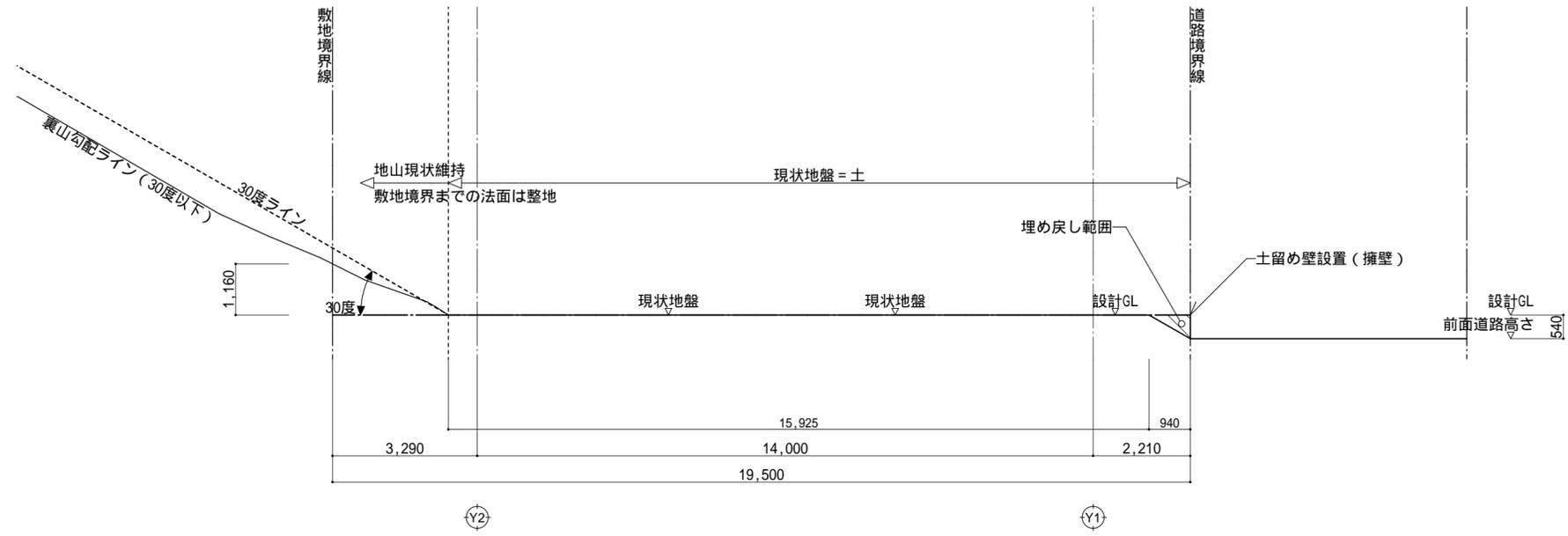
符号	形状	数量	① AW	2連引違い窓	9 ケ所	② AW	引違い窓	3 ケ所	③ AW	可動式ガラス扉窓	4 ケ所	④ AW	2連外倒し窓	10 ケ所	○	ケ所	① SS	手動軽量シャッター	1 ケ所	② SS	手動軽量シャッター	1 ケ所
位置	倉庫8箇所、AW1-1: (控室1箇所)					控室			通路、便所、シャワー室				倉庫上部(排煙窓)			倉庫			倉庫			
姿図																						
材料・仕上	アルミ製、アルマイト仕上					アルミ製、アルマイト仕上			アルミ製、アルマイト仕上				アルミ製、アルマイト仕上			カラー鋼板			カラー鋼板			
見込	70					70			70				70									
硝子	網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm			網入り型板ガラス t6.8mm				網入り型板ガラス t6.8mm									
金物	標準金物一式					標準金物一式			標準金物一式				標準金物一式			標準金物一式、シリンダー錠、シャッターケース			標準金物一式、シリンダー錠、シャッターケース			
備考	AW1-1のみ4方枠(175×25)(栓)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事					4方枠(175×25)(栓)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事			4方枠(110×25)(栓)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事				オペレーター(60度以上開口)			外部スチール化粧枠t1.6(外壁との仕舞い)			外部スチール化粧枠t1.6(外壁との仕舞い)			
符号	形状	数量	① SD	片開きフラッシュ戸	1 ケ所	② SD	片開きフラッシュ戸	1 ケ所	○	ケ所	① LSD	軽量鋼製片引き吊り戸	4 ケ所	② LSD	軽量鋼製片開き戸	1 ケ所	③ LSD	軽量鋼製片開き戸	2 ケ所	① WW	木製三方枠	3 ケ所
位置	倉庫					倉庫			控室入口				シャワー室			便所			シャワーユニット入口			
姿図																						
材料・仕上	スチール、SOP					スチール、SOP			化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)				化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)			化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)			木製三方枠 25×150			
見込	30					30			36				36			36			150			
硝子	網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm			型板ガラス t6mm				型板ガラス t6mm			型板ガラス t6mm						
金物	標準金物一式、シリンダー本錠錠 ドアチェック、レバーハンドル					標準金物一式、シリンダー本錠錠 ドアチェック、レバーハンドル			引違棒、上吊り車、ガイドレール、シリンダー錠 サムターン				ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠、サムターン 戸当り			ドアチェック、レバーハンドル、表示錠、戸当り						
備考	外部スチール化粧枠(外壁との仕舞い) ステンレス沓摺、戸当り					外部スチール化粧枠(外壁との仕舞い) ステンレス沓摺、戸当り							アルミガラリ(有効開口面積:0.04㎡以上)			アルミガラリ(1箇所当りの有効開口面積0.03㎡以上)			WP塗装			



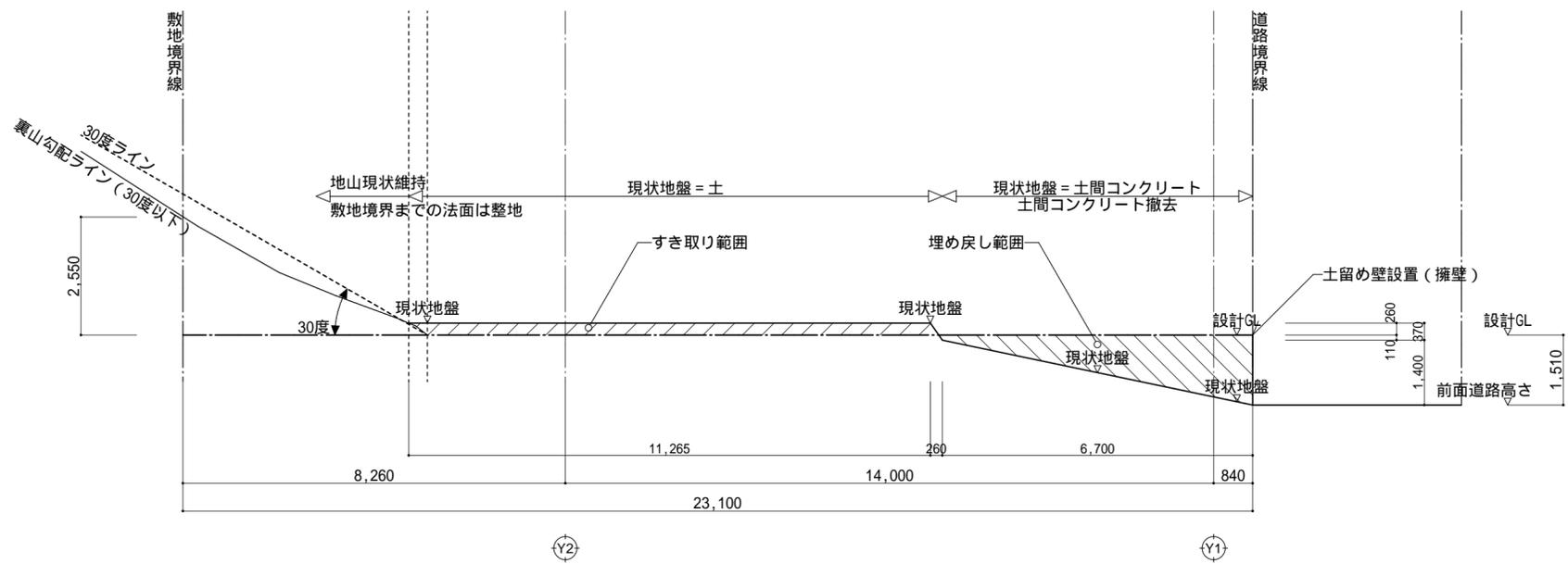
凡例	
	今回新築建物の犬走り、側溝等の外部範囲を示す
	今回新築建物範囲を示す
	コンクリート土間撤去範囲を示す。t 120、無筋 敷地境界線に沿って、カッター入れの上撤去
	地山掘削範囲を示す 敷地境界線のGL面から法面勾配が30度以下となる ように山側を掘削する。掘削面は整地とする。 敷地境界線から法片まではおおむね7,500となる。



TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	24
NAME	外構配置図		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-24	

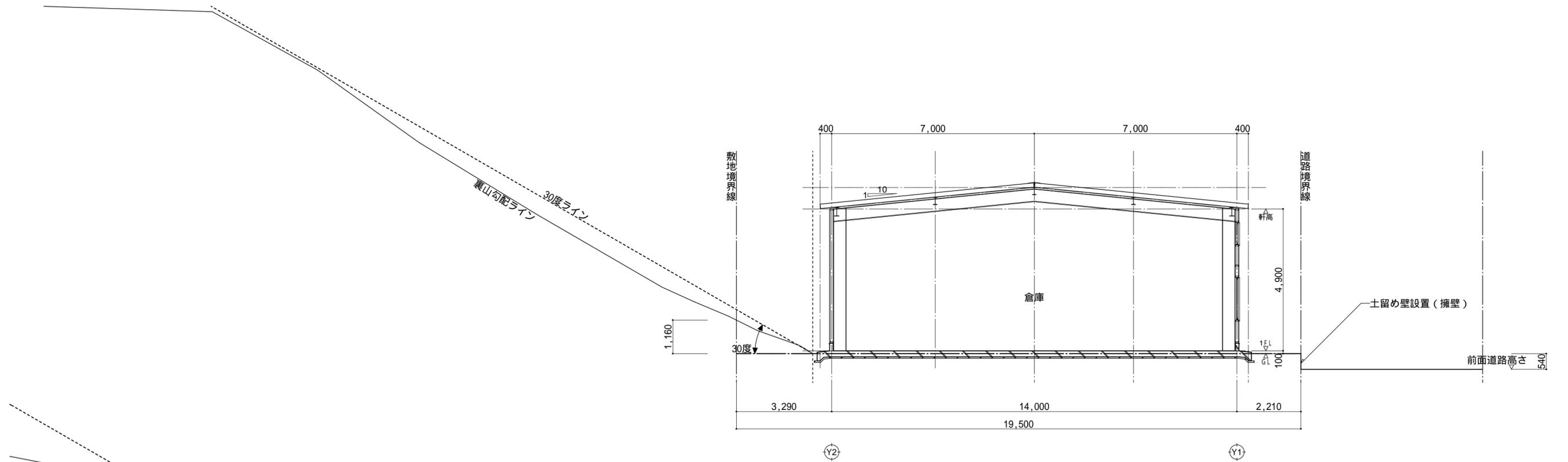


A-A 現状地盤縦断面図 1/100

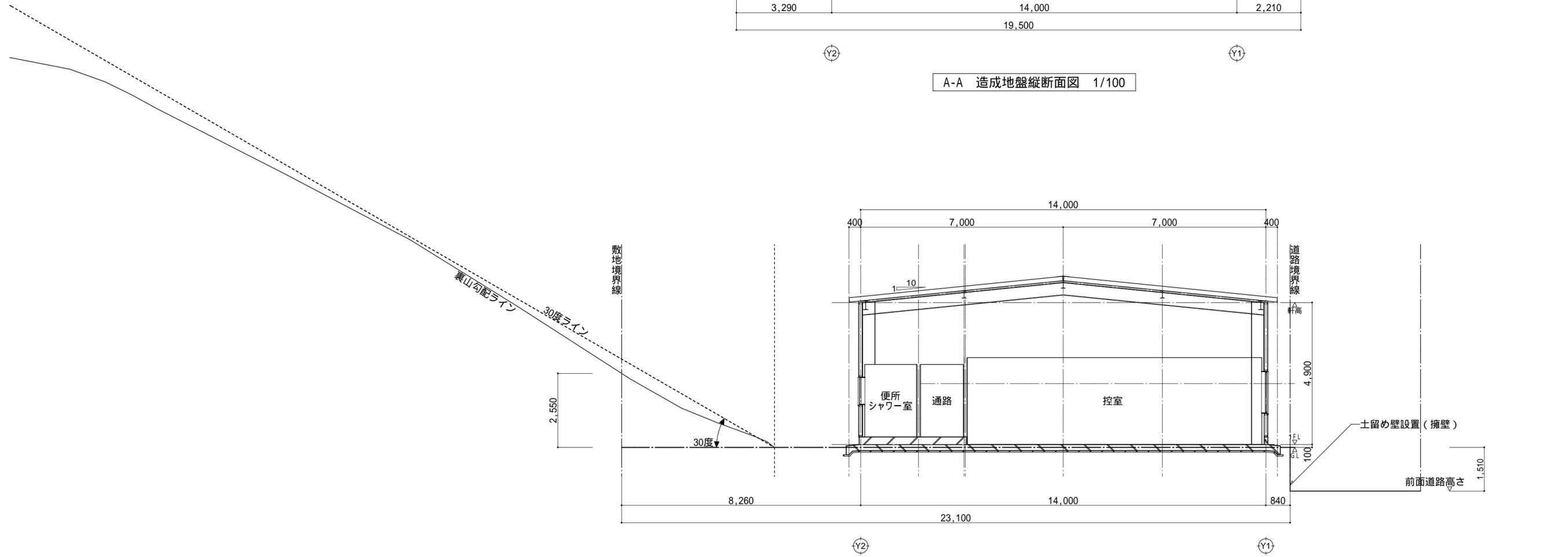


B-B 現状地盤縦断面図 1/100

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	25
NAME	敷地縦断面図-1 (現況図)	SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-25	



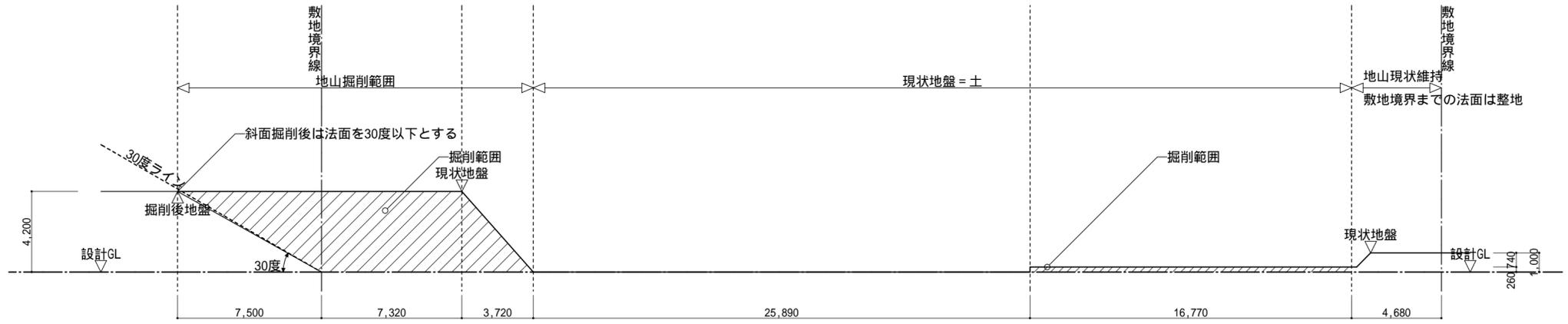
A-A 造成地盤縦断面図 1/100



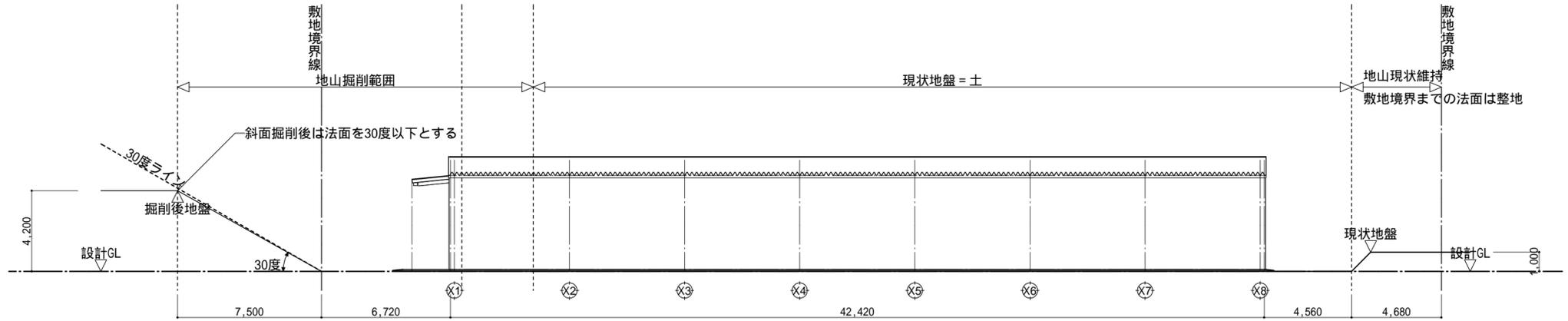
B-B 造成地盤縦断面図 1/100

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	26
NAME	敷地縦断面図-2 (造成後)		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-26	

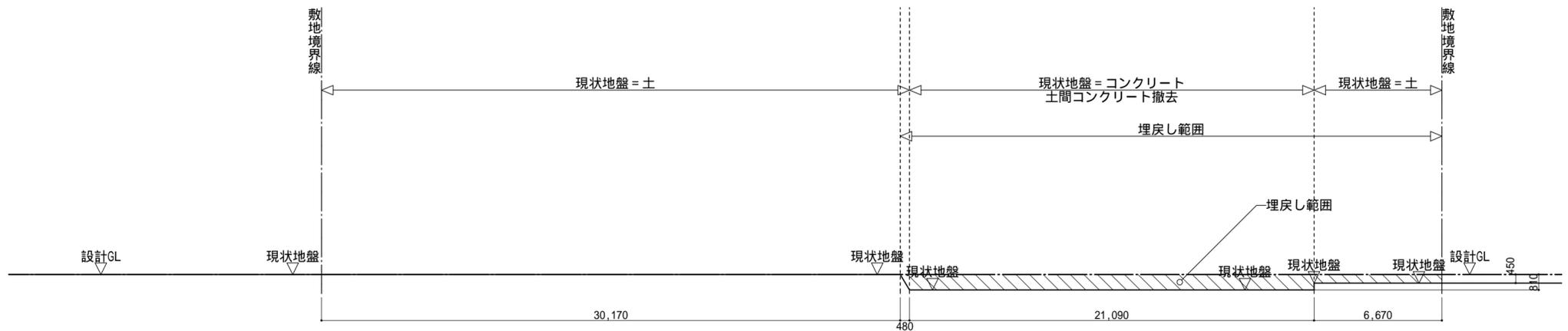
C-C 現状地盤横断面図 1/200



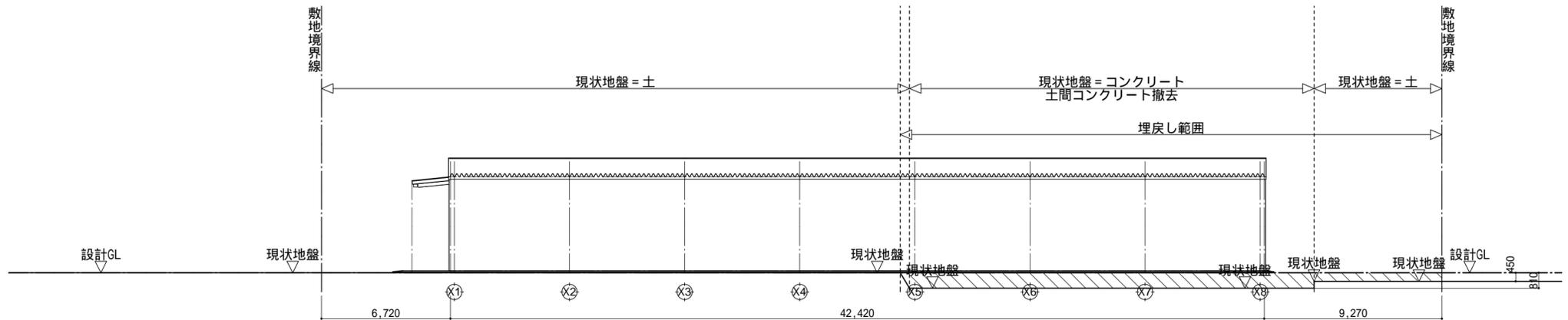
C-C 造成地盤横断面図 1/200



D-D 現状地盤横断面図 1/200



D-D 造成地盤横断面図 1/200



TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	27
NAME	敷地横断面図 (現況図 造成後)	SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-27	